



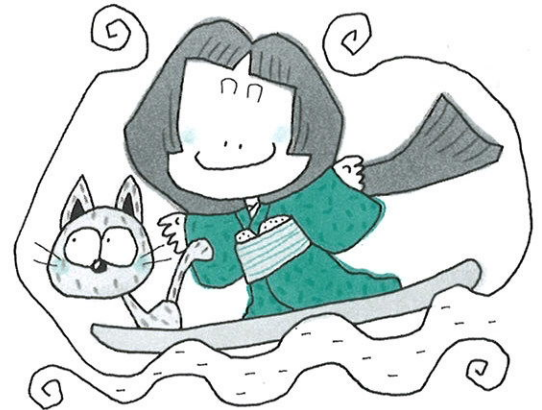
目次

□	安全にご使用いただくために	1
共通編		
1	ご使用になる前に	3
2	各部の名称	4
3	縫うための準備	5
	アンテナのセット/コントローラーの セット/糸のセット (ベビーネットの 使い方・駒受けの使い方)	
4	試し縫い	7
	縫い初め/縫い終わり/「空環」の始末	
5	縫い目調節とメスの固定	9
	かがり幅の調節/送り目の調節 /メスの固定/押え圧力の調節	
6	あこ〜でおん (差動)	11
7	押え金	12
	押え金の取り付け・取りはずし方 /バルキー押えの使い方	
オーバーロック編		
8	4本糸・3本糸・巻きロックへの切換	14
	2本針4本糸ロック/1本針3本糸ロック /標準巻きロック/変形巻きロック	
9	糸かけ	
	糸かけ全体図	17
	糸かけの前に/糸かけが終わったら	18
	下ルーパー糸	19
	上ルーパー糸	20
	右針糸	21
	左針糸	22
	太い糸のかけ方	23
ウェ〜ブロック編		
10	ウェ〜ブロックへの切換	25
	ウェ〜ブロック ウェ〜ブロックの巻きロック	
11	ウェ〜ブロックの糸かけ	
	糸かけ全体図	27
	糸かけの前に/糸かけが終わったら	28
	下ルーパー糸	29
	上ルーパー糸	30
	針糸	31
	太い糸のかけ方	32
メンテナンス編		
12	メンテナンス	34
	ルーパースレッダーの使い方 /針の交換/メスの交換/掃除と給油について	
13	修理を依頼される前に	36
	仕様	

オーバーロック/ウェ〜ブロック

Instruction Manual

wave



baby lock

糸取物語

お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

- ご使用前に、この「ご使用のてびき」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- 保証書はお買い求めの販売店から必ずお受け取りのうえ、この「ご使用のてびき」とともに大切に保管ください。

ご使用のてびき

安全にご使用いただくために

ご使用していただくに当たっては、安全のために下記のことをお守りください。
このミシンは、日本国内向け・家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY

⚠ 警告

感電、火災の恐れがあります。

- ◇一般家庭用の100V電源をご使用ください。
- ◇使用後やミシンから離れるとき、また停電したときは必ず電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いてください。



⚠ 注意

感電、火災、ケガの原因となります。



- ◆コントローラーや電源コードの上に物を乗せないでください。



- ◆お子様のご使用になるときや、お子様の近くでご使用される場合は、安全に対し十分に注意を払ってください。



- ◆以下の場所でのご使用および保管はなさないでください。
 - ・強力なスポットライトや熱器具のそば、直射日光の当たる場所
 - ・スプレー製品や酸素、引火性の高い薬品を扱っている場所
 - ・高い場所 ・お子様の手の届く場所

- ◆ミシンおよびコントローラーに水や薬品などがかからないようにしてください。



- ◆以下のときは、必ず電源を切ってください。
 - ・メスの交換をするとき
 - ・針糸やルーパー糸をセットするとき
 - ・針板を交換するとき
 - ・押え金を交換するとき
 - ・ランプの交換をするとき
 - ・針を交換するとき

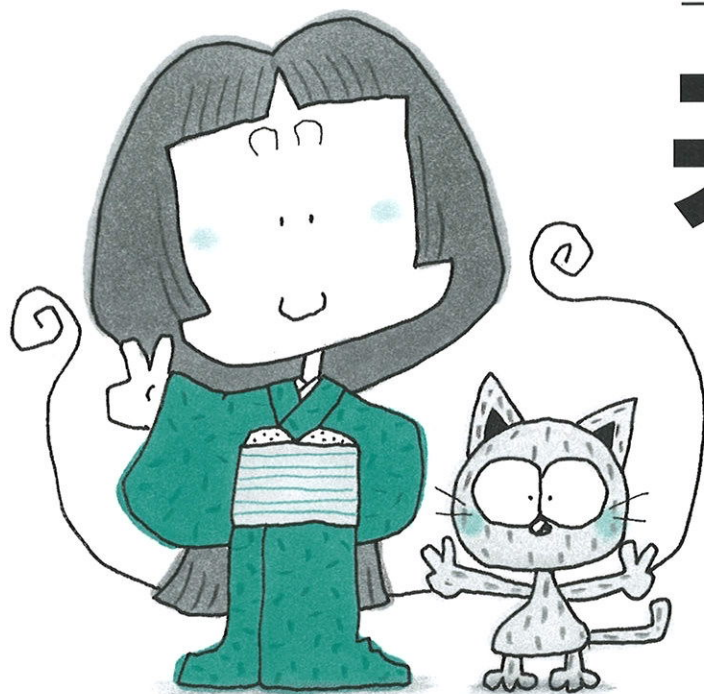
※ランプの交換は、ガラス部分が冷めてから行ってください。

- ◆ミシン本体やコントローラー、電源コードの分解・改造等はしないでください。
- ◆電源コードの接続に、延長コードや分岐コンセントを使用しないでください。
- ◆電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを切ってからプラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
- ◆ミシン本体の換気穴をふさがないでください。
- ◆ミシン内部にドライバーや異物を入れないでください。また糸くずやホコリがたまらないようにしてください。
- ◆以下のときはミシンのご使用を中止し、お近くの販売店にご相談ください。
 - ・電源コードまたは電源プラグが破損、劣化したとき
 - ・落下などにより破損したとき
 - ・ミシンが濡れたとき
 - ・異常な臭いや音がするとき
 - ・正常に作動しないとき
- ◆操作中は針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天秤、ルーパーなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。
- ◆ミシンには正規の部品をご使用ください。また曲がった針や破損している針はご使用にならないでください。
- ◆縫製中に布を無理に引っ張ったり押ししたりしないでください。
- ◆ミシンを移動するときは、把手を持って行ってください。
- ◆操作時は、ミシン本体のカバー類（メスカバー等）はすべて閉じてください。

オーバーロック/ウェ〜ブロック

共通編

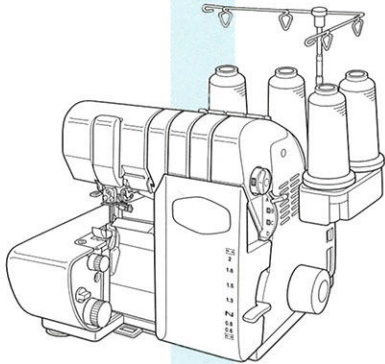
共通編



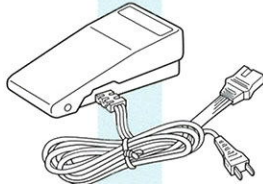
共通編

1	ご使用になる前に	3
2	各部の名称	4
3	縫うための準備 アンテナのセット/コントローラーの セット/糸のセット (ベビーネットの 使い方・駒受けの使い方)	5
4	試し縫い 縫い初め/縫い終わり/「空環」の始末	7
5	縫い目調節とメスの固定 かがり幅の調節/送り目の調節 /メスの固定/押え圧力の調節	9
6	あこ〜でおん (差動)	11
7	押え金 押え金の取り付け・取りはずし方 /バルキー押えの使い方	12

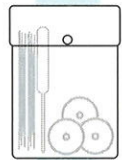
■下記のものが入っていることを必ずご確認ください。



ミシン本体

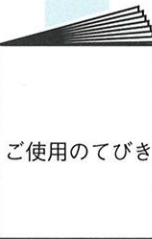


コントローラー



アクセサリケース

保証書

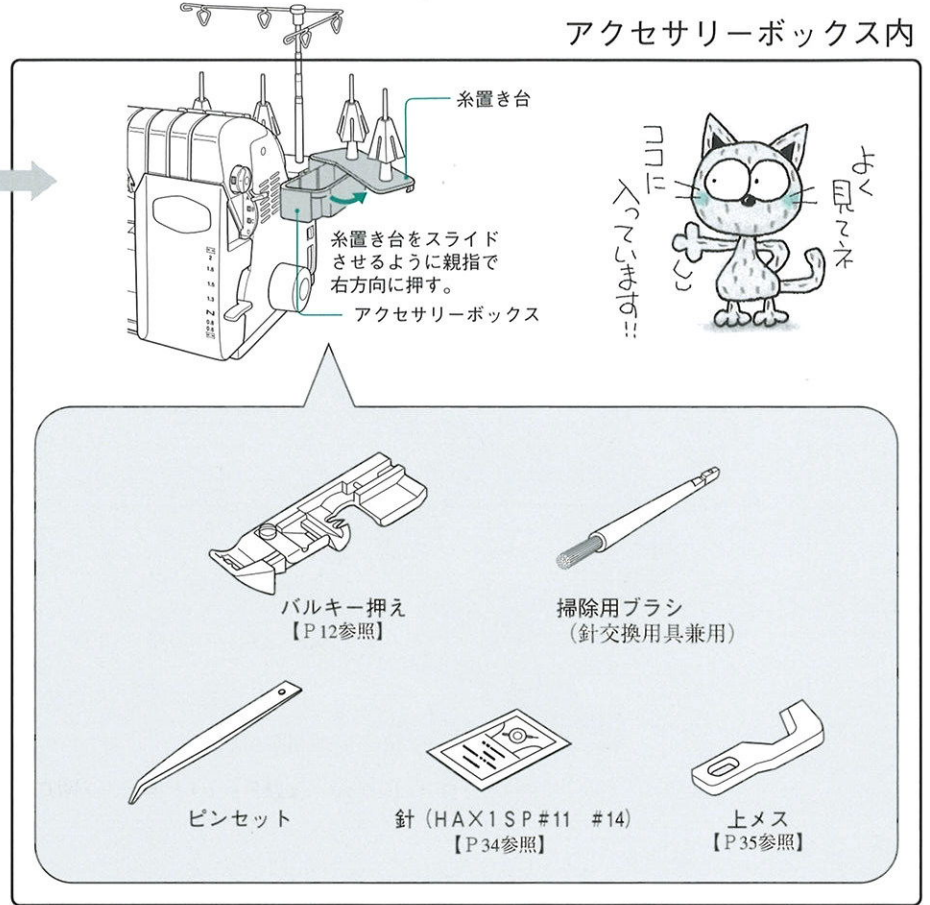


ご使用のてびき

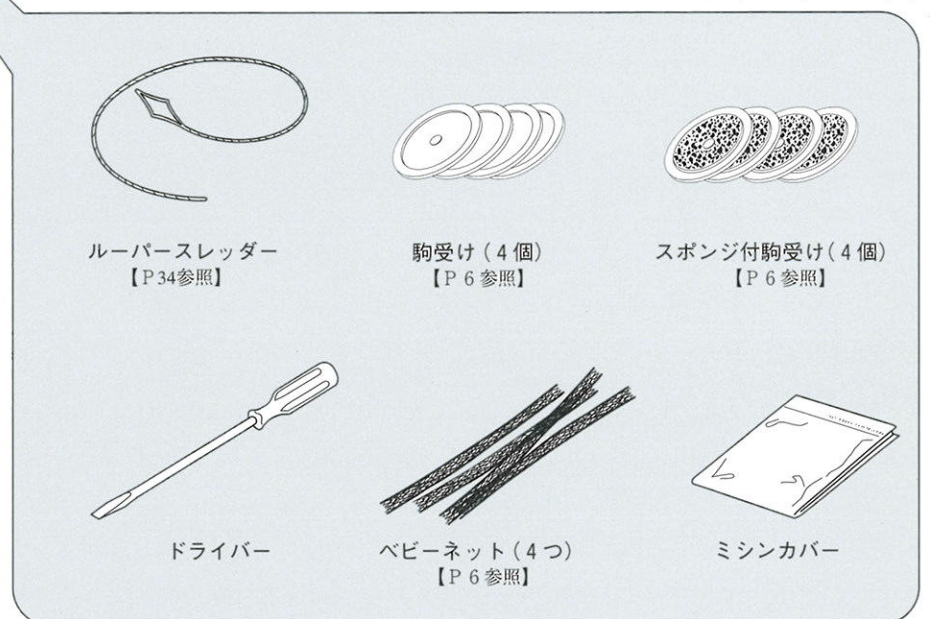


早見表

アクセサリボックス内



アクセサリケース内



2

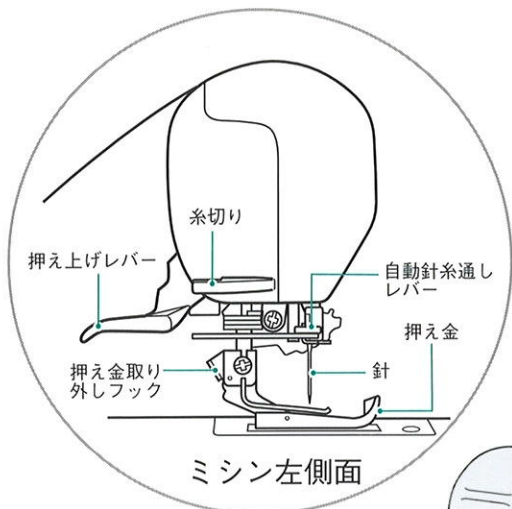
各部の名称



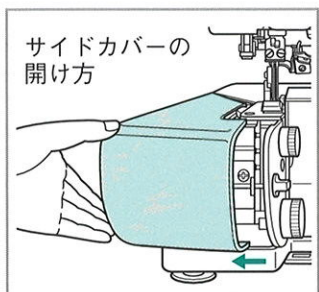
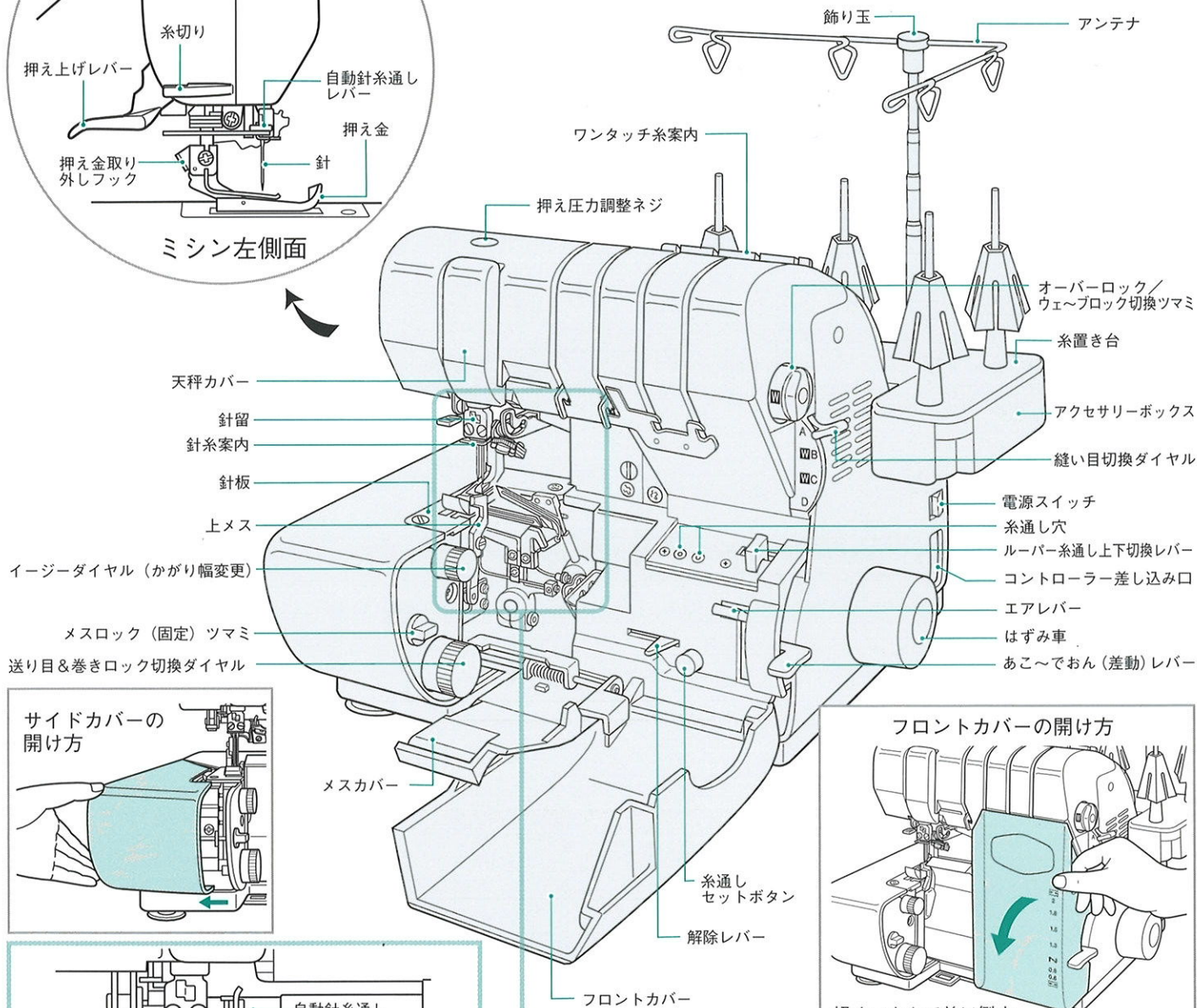
BLE 3 ATWをお使いの方へ ～セーフティストップ機構(安全装置)～

BLE 3 ATWには、誤作動を防止するために「セーフティストップ機構(安全装置)」が装備されており、以下の時はミシンが動かないようになっています。

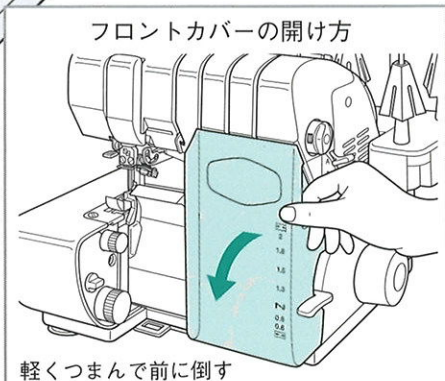
- ◆フロントカバーが開いているとき
 - ◆押え金が上がっているとき
- カバーを閉め、押え金が下がっていることを確認してからお使いください。



ミシン左側面

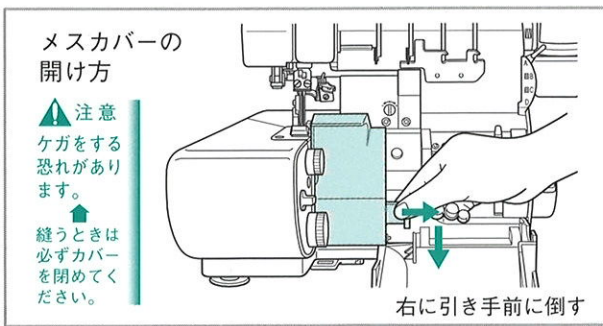
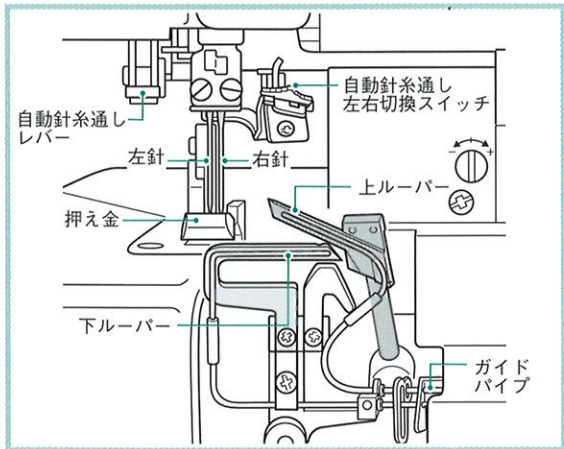


サイドカバーの
開け方



フロントカバーの開け方

軽くつまんで前に倒す



メスカバーの
開け方

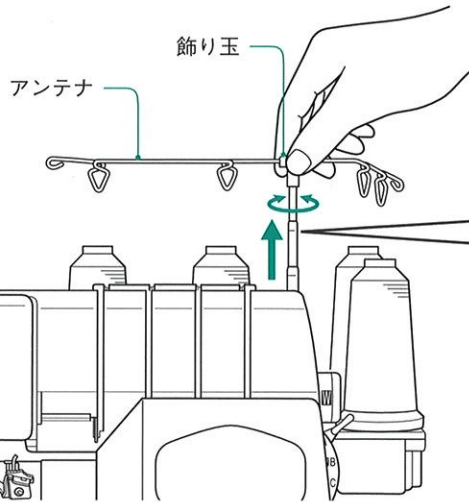
▲注意
ケガをする
恐れがあり
ます。
縫うときは
必ずカバー
を閉めてく
ださい。

右に引き手前に倒す

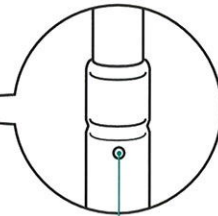
アンテナのセット

1 飾り玉を持って真上に引き伸ばす。

このとき糸がアンテナやそのほかの部分に絡まっていないことを確認。



2 アンテナを左右に振ってストッパーを固定する。



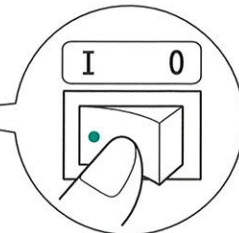
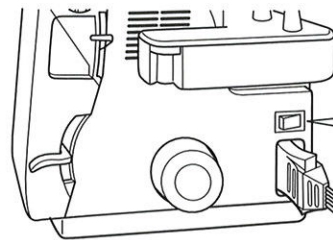
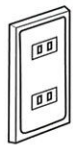
ストッパー



コントローラーのセット

2 電源スイッチを [I] にすると通電状態となり、照明ライトがつく。

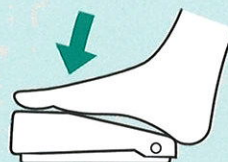
1 コントローラーのプラグをミシン本体と家庭のコンセントに差し込む。



注意

火事の原因になります。

- ◆ プラグをコンセントに長時間差し込んだままにしない。
- ◆ コントローラーの上に物を乗せない。



スピードの調節

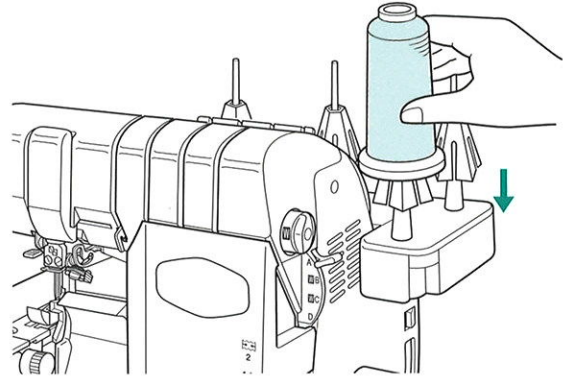
強く踏むと早く、弱く踏むと遅くなります。



糸のセット

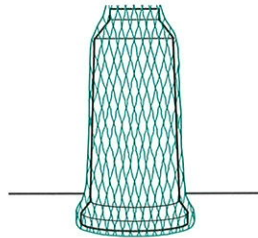
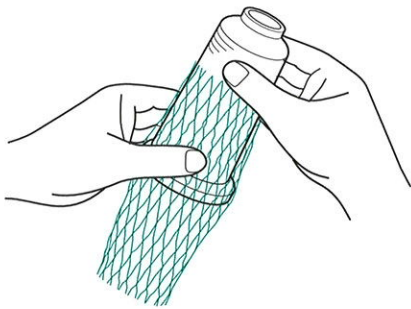
テトロン糸、スパン糸、ウーリー糸、飾り糸、穴糸、金糸など市販されているほとんどの糸を使用することができます。

※古い糸や粗悪な糸を使用すると、糸切れや目飛び、糸調子の乱れの原因になりますので、使用しないでください。



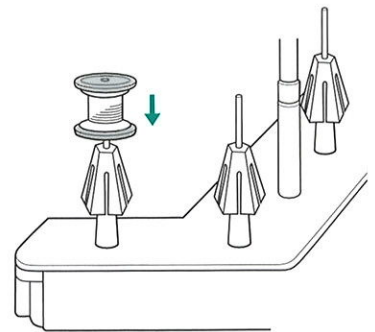
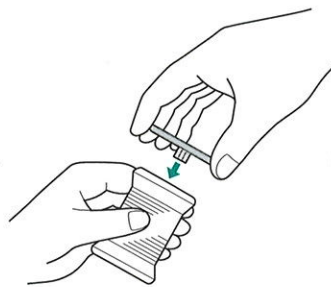
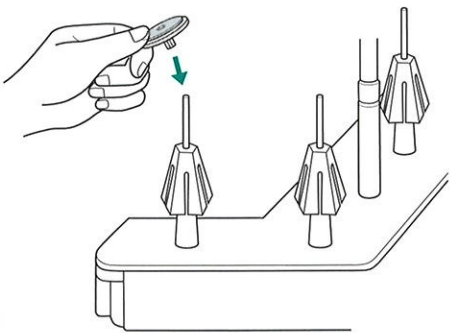
■ベビーネットの使い方

化繊糸などのすべりやすい糸は、付属の「ベビーネット」をご使用ください。



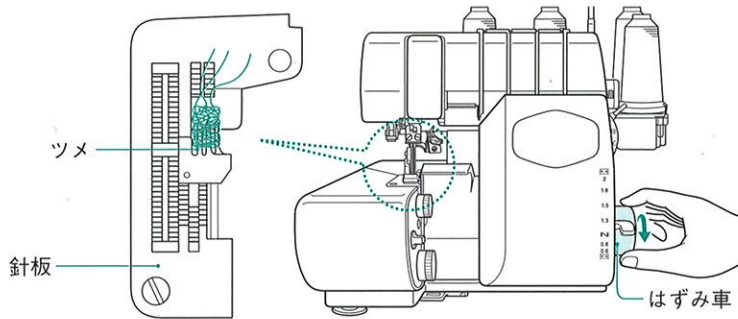
■駒受けの使い方

普通はロック糸を使用しますが、駒糸も使用できます。その場合は付属の「駒受け」と「スポンジ付駒受け」をご使用ください。

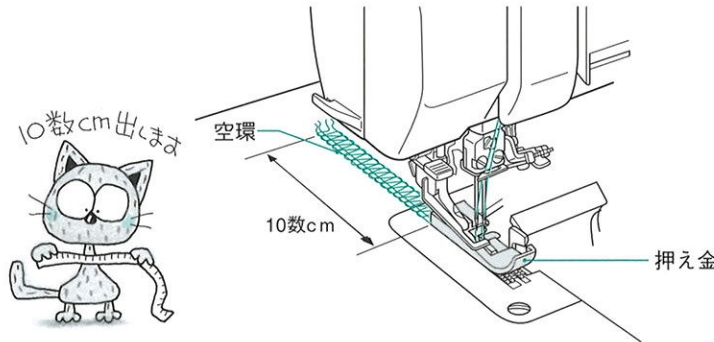


縫い始め

1 「はずみ車」を手前方向に手で数回まわし、針板のツメに糸がからんでいることを確認する。



2 押え金が下りていることを確認し、コントローラーを軽く踏んで「空環」を約10数cm出しておく。



からかん

スピードの調節

強く踏むと早く、弱く踏むと遅くなります。

注意

ケガをする恐れがあります。

針・ルーパー・メスの動く範囲に指や手を持っていかないでください。

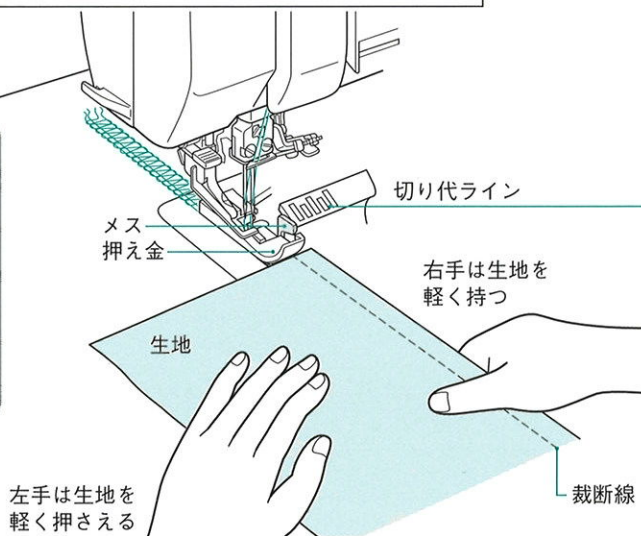
3 メスに裁断線を合わせて生地を置く。

このとき押え金を上げる必要はありません。縫い始めると、生地は押え金の下へ自然と入っていきます。

ワンポイント

バイヤスやカーブを縫うときは生地がはずれやすくなるため、

- ① 針とメスの間が直線になるように生地を手で直線に補助する。
- ② あこ〜でおん(差動)レバーをNより上にして縫うとはずれにくくなります。



切り代ラインの使い方

切り代ラインはメスで切り落とす生地量の目安です。生地端を5の線に合わせてと約5mm切り落とし、10の線に合わせてと約10mm切り落としします。

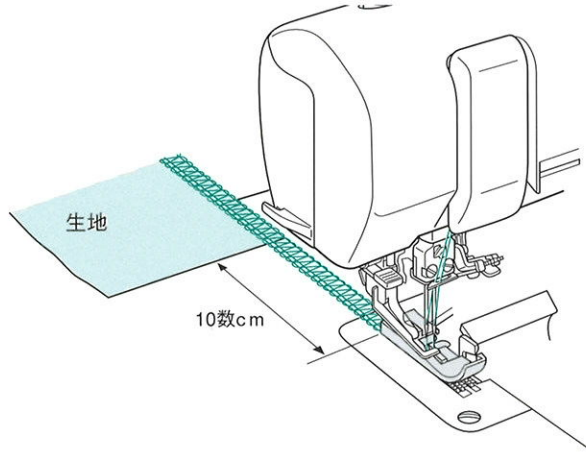
切り代ラインは目安ですので、正確を要する場合は試し切りを行い、確認してから縫い始めてください。

4 コントローラーを踏んで縫い始める。

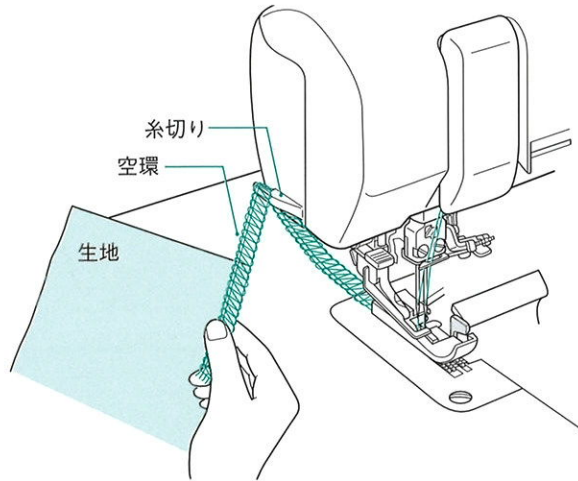


縫い終わり

- 1 生地を縫い終わったら、そのまま空縫いをし、「空環」を約10数cm出しておく。
からかん

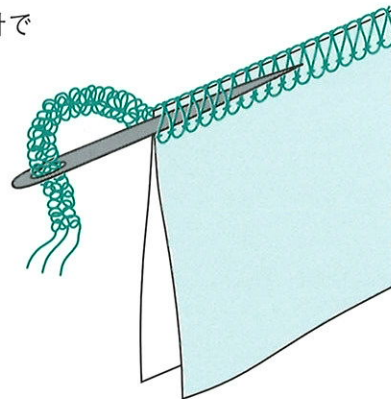


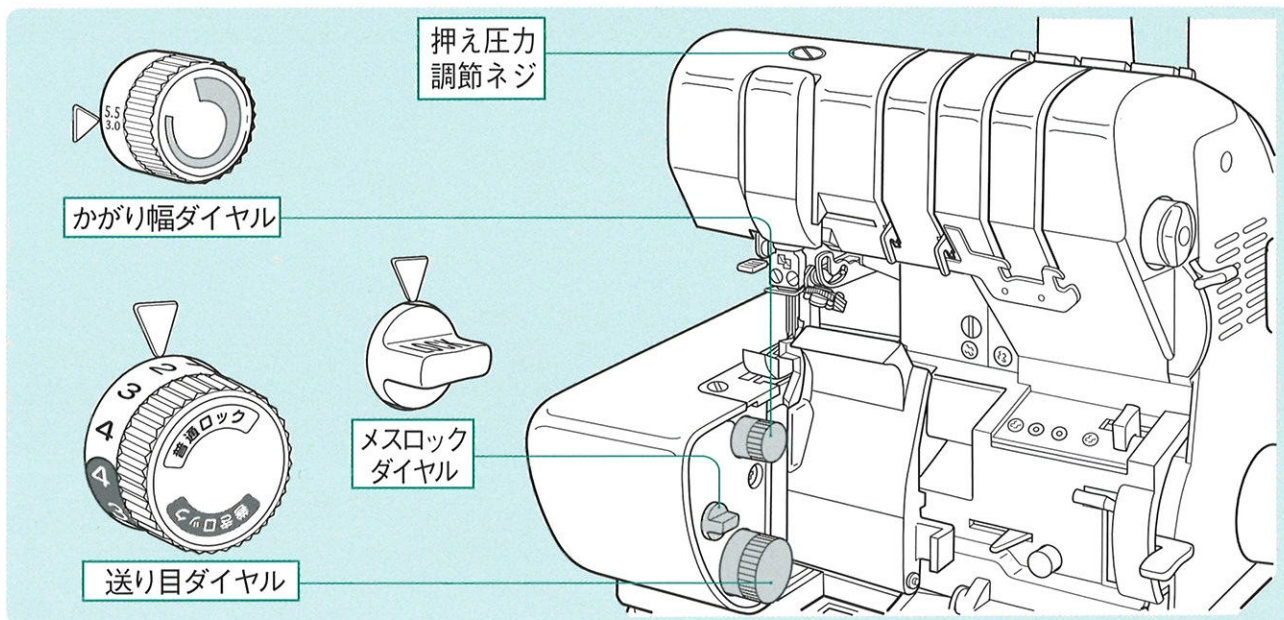
- 2 最後に「糸切り」で「空環」を切る。



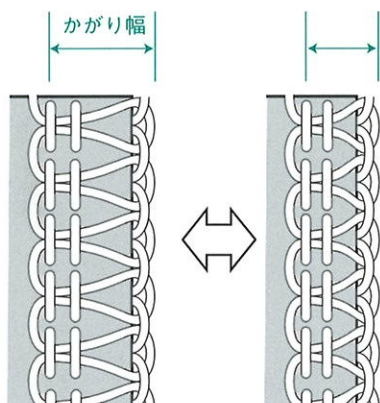
からかん
「空環」の始末

縫い終わった後、「空環」はとじ針で裏の縫い目に通しておきます。

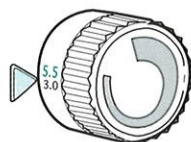




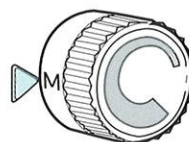
かがり幅の調節



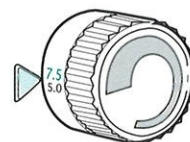
4本糸および左針を使用した時の3本糸の縁かがり
(上段の大きい数値で合わせます)



5.5mm幅

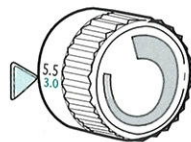


5.9mm幅

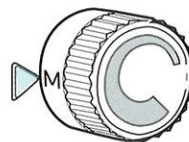


7.5mm幅

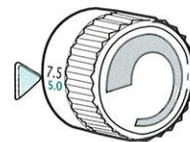
右針を使用した時の3本糸の縁かがり
(下段の小さい数値で合わせます)



3.0mm幅

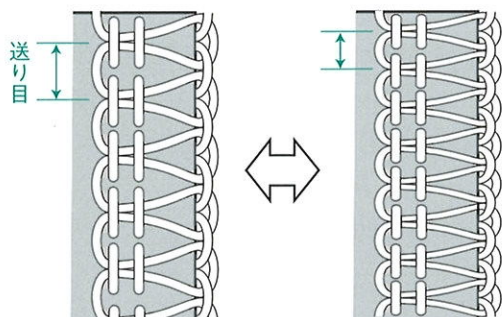


3.4mm幅



5.0mm幅

送り目の調節



普通ロック・巻きロックともに1~4mmの範囲で調節できます。



普通ロック



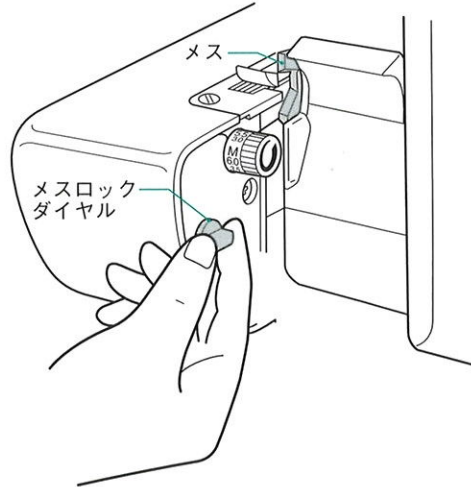
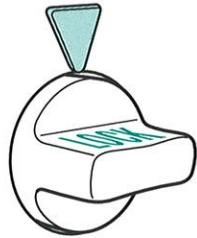
巻きロック

ウェーブロックの場合は、「一つの波」が25針で形成されているため、送り目を長くすればするほど、糸と糸の間が開いて見えます。



メスの固定

ピンタックや飾りステッチなど、メスで布地を切らないで縫う場合は、メスロックダイヤルを【LOCK】(固定)にしてください。メスが固定されて動かなくなります。

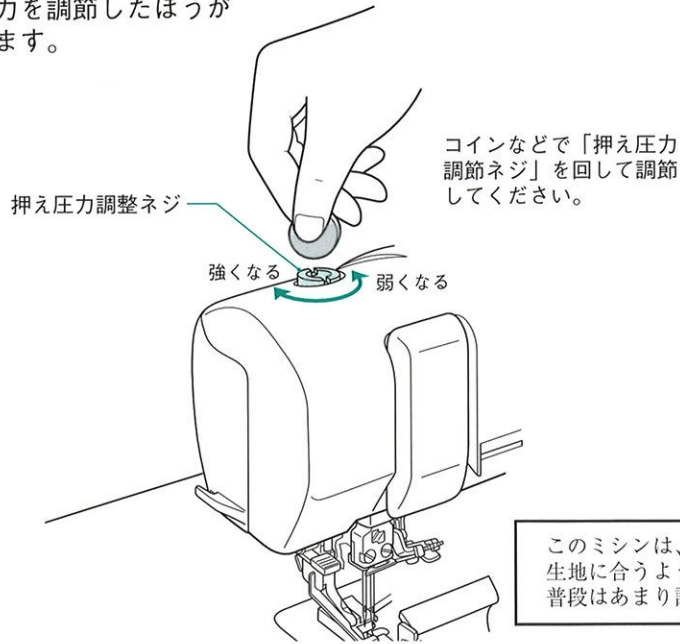


ワンポイント
固定されたメスは、そのまま布ガイドとして使用できます。



押え圧力の調整

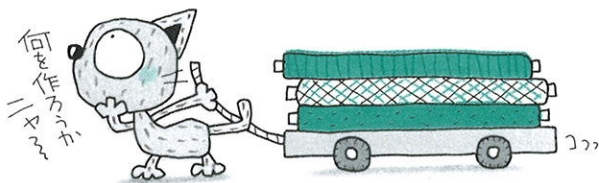
滑りやすい生地や厚い生地を何枚も重ねて縫う場合など、押え圧力を調節したほうが縫いやすい場合があります。



コインなどで「押え圧力調節ネジ」を回して調節してください。

強くなる ← 弱くなる

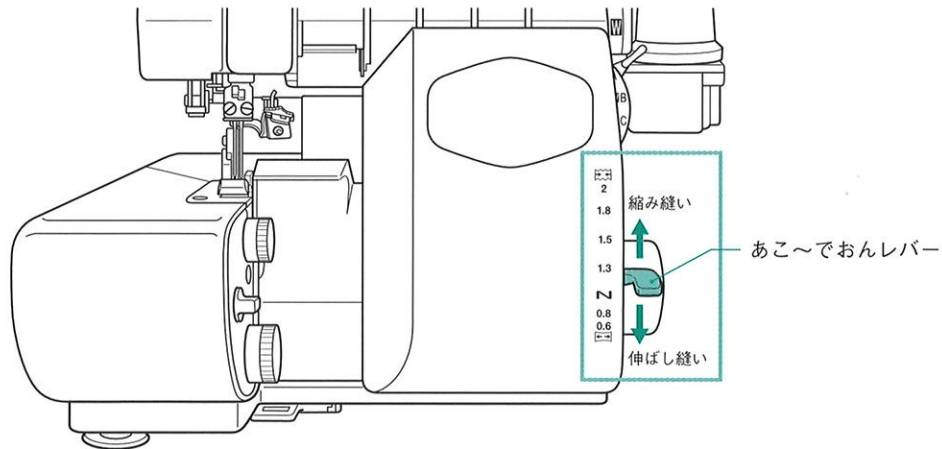
このミシンは、工場出荷時にほとんどの生地に合わせて調節されていますので、普段はあまり調節する必要はありません。



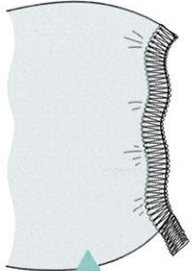


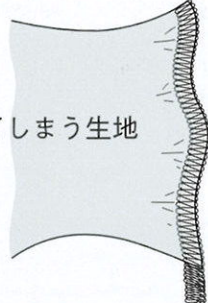
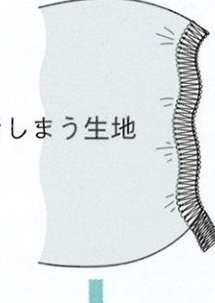


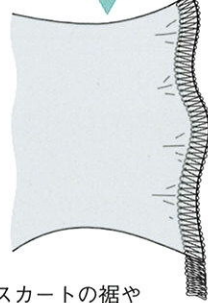



6

あこ〜でおん(差動)

伸びやすいニットやジャージー、トリコットなどの生地や、逆に裏地のような縮みやすい生地を縫う場合は「あこ〜でおんレバー」を使うと、平にきれいに仕上げることができます。
さらにギャザーを寄せたり、フレアスカートへのいせ込みの際に使用すると、とても便利です。



 2 1.8 1.5 1.3 	縮み縫い	袖山のギャザー寄せ、フレアスカートのヘムのいせ込み等 	ニット地、バイヤス部分等 	
Z	通常縫い		伸びてしまう生地 	縮んでしまう生地 
0.8 0.6  	伸ばし縫い	スカートの裾やブラウスの衿のフリル等 		裏地の縁ががり、薄地の巻きロック等 

さらに縮み量を大きくしたいときは、付属の「バルキー押え」をご使用ください。(P12参照)

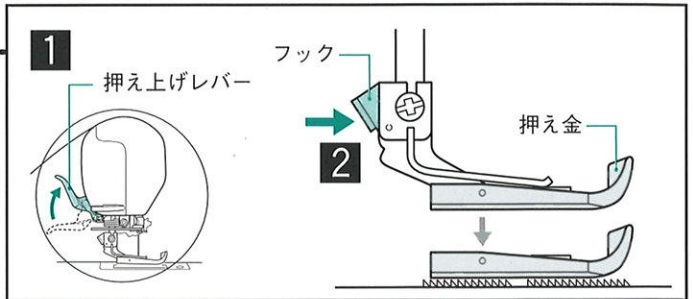


押え金の取り付け・取り外し方

専用アタッチメント(各種押え金)を使用する場合の、押え金の取り付け・取りはずしは、下記の要領で行ってください。

【取りはずし方】

- 1 押え上げレバーで押え金を上げる。
- 2 フックを押すと押え金はずれる。

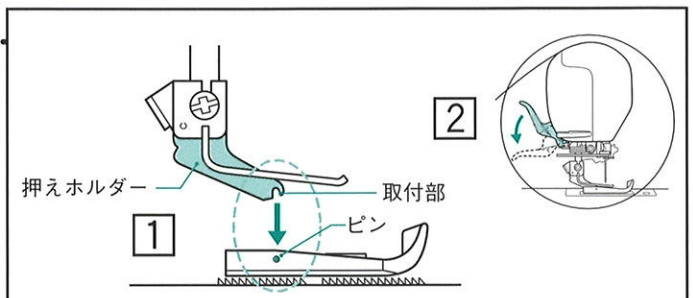


【取り付け方】

- 1 押えホルダーの取付部の真下に、押え金のピンがくるように置く。
- 2 押え上げレバーを下げる。

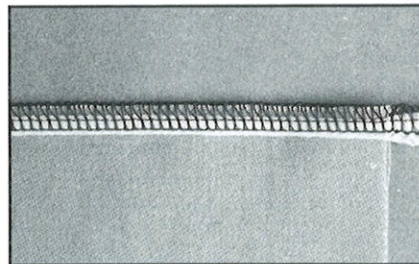
ワンポイント

押え金が入りにくい場合は、押え上げレバーをさげたままフックを押してください。

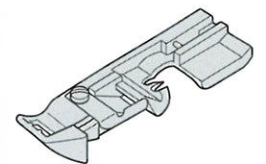


バルキー押えの使い方

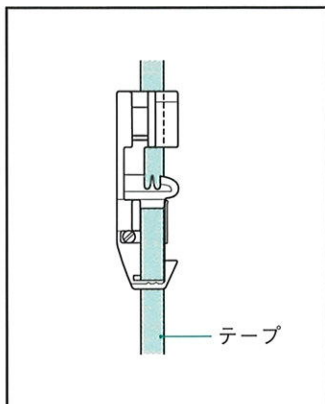
「バルキー押え」は、
 ●あこ〜でおん(差動)を使って縮み縫いをするとき、より縮み量を多くしたり、
 ●右のように、縁かがりと同時に、伸び止めテープ(ウーリースピンテープ)や各種テープを入れることができます。テープの入れ方は下記の通り。



肩部分の合わせ縫いに最適



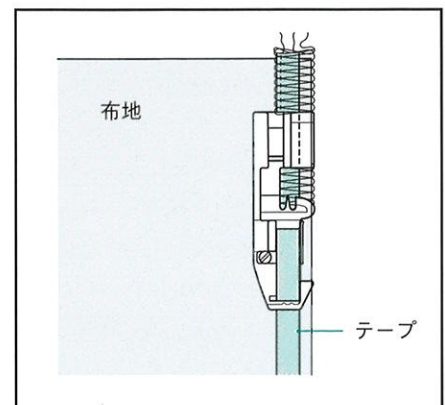
- 1 バルキー押えにテープを通しておく。



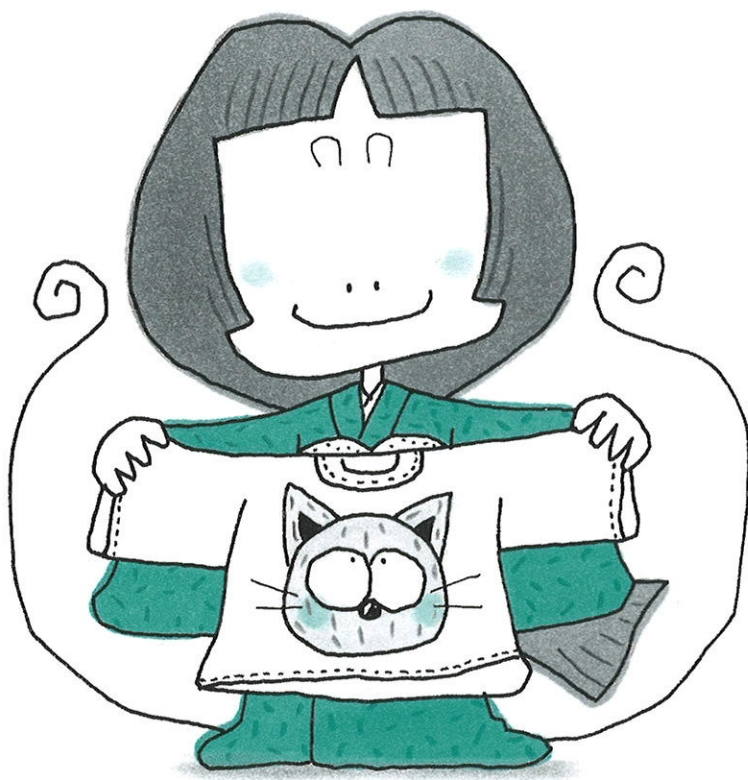
- 2 針を一番上に上げ、上記の押え金の【取り付け方】を参照にしてバルキー押えを取り付ける。



- 3 空縫いしてから、布地を入れて縫い始める。



オーバーロック編



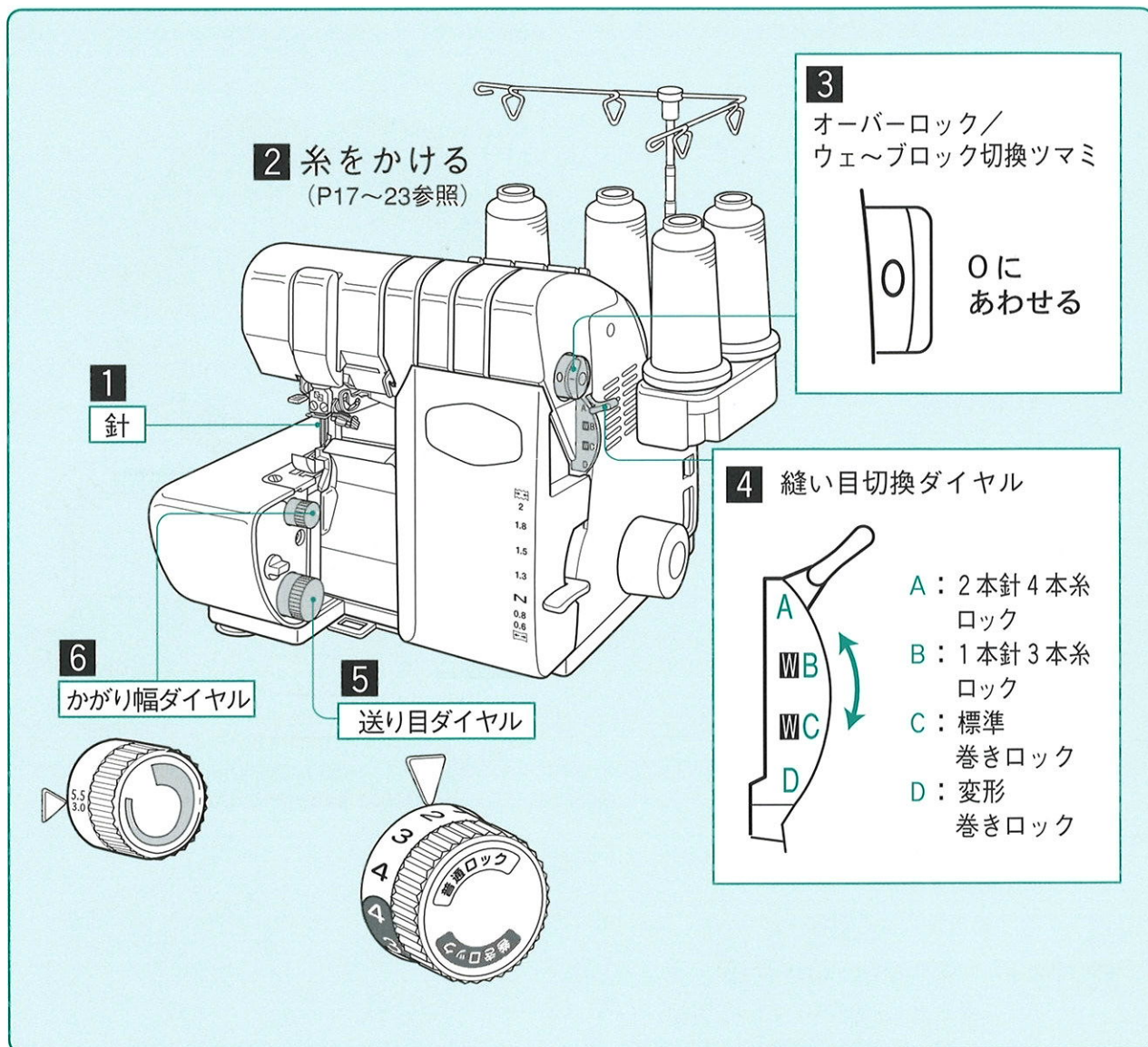
オーバーロック編

オーバーロック編

8	4本糸・3本糸・巻きロックへの切換	14
	2本針4本糸ロック／1本針3本糸ロック	
	／標準巻きロック／変形巻きロック	
9	糸かけ	
	糸かけ全体図	17
	糸かけの前に／糸かけが終わったら	18
	下ルーパー糸	19
	上ルーパー糸	20
	右針糸	21
	左針糸	22
	太い糸のかけ方	23

オーバーロックの 4本糸・3本糸・巻きロックへの切換

このミシンは A. 2本針4本糸ロック、B. 1本針3本糸ロック、C. 標準巻きロック、D. 変形巻きロックの4種類の基本縫いを、面倒な調節なしで簡単に切り替えることができます。



ワンポイント

縫い目がきれいにできない場合は溝の間にある2枚の糸調子皿から糸がはずれていることがあります。この2枚の皿で糸をはさみ、縫い目を整えています。ここから糸がはずれるときれいな縫い目になりません。

押え上げレバーを上げ、この皿を開いてから、もう一度溝に糸を入れ直してください。入れ直した後、押え上げレバーを下げることを忘れないで！

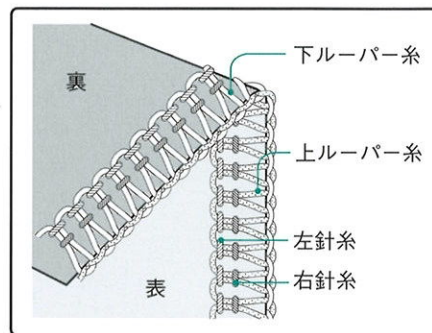
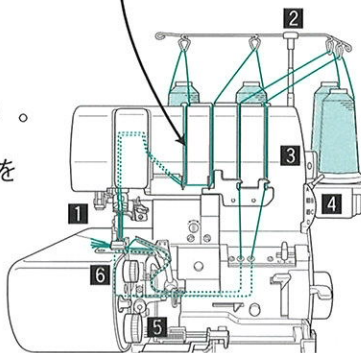
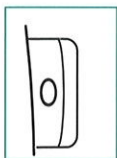


溝の間に2枚の糸調子皿があるよ！

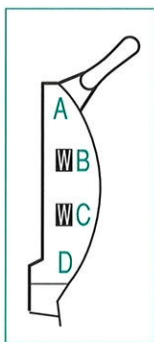
普通ロック

2本針4本糸ロック

- 1 2本針にする。
- 2 4本とも糸をかける (P17~22参照)。
- 3 「オーバー/ウェーブ切換つまみ」を **○** に合わせる。



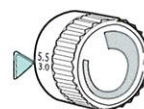
- 4 「縫い目切換ダイヤル」を **A** に合わせる。



- 5 「送り目ダイヤル」を【普通ロック】の数字1~4に合わせる。
(生地の種類や好みによって)

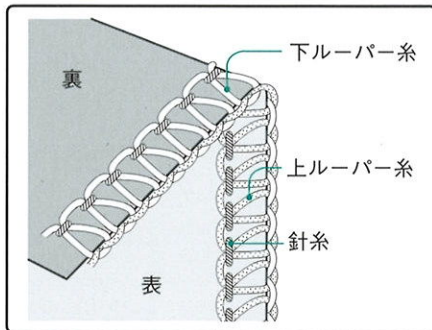
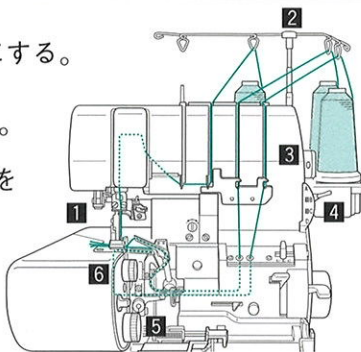
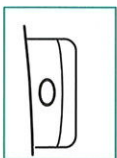


- 6 「かがり幅ダイヤル」を合わせる。
【上段の数字で合わせる】
(生地の種類や好みによって)

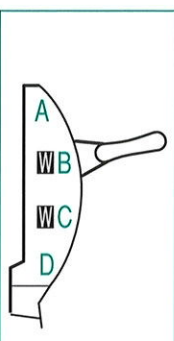


1本針3本糸ロック

- 1 右針または左針をはずして1本針にする。
【通常は右針を使用する】
- 2 3本の糸をかける (P17~22参照)。
- 3 「オーバー/ウェーブ切換つまみ」を **○** に合わせる。



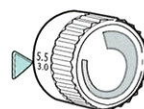
- 4 「縫い目切換ダイヤル」を **B** に合わせる。



- 5 「送り目ダイヤル」を【普通ロック】の数字1~4に合わせる。
(生地の種類や好みによって)



- 6 「かがり幅ダイヤル」を合わせる。
【右針使用の場合は下段の数字で合わせる】
【左針使用の場合は上段の数字で合わせる】
(生地の種類や好みによって)



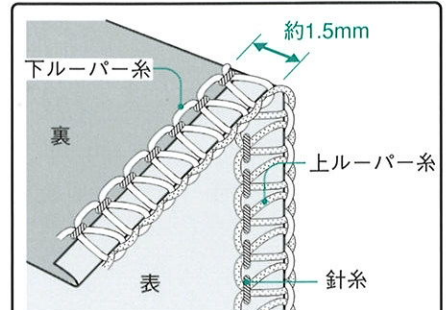
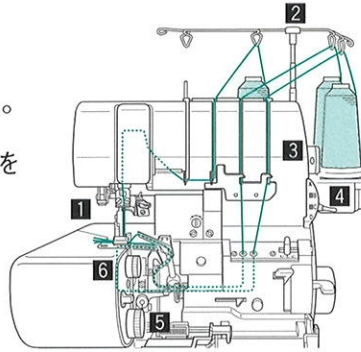
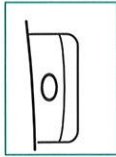


巻きロック

このミシンは、布端をひと折りしながら細くかがっていく【巻きロック】で縫うことができます。巻きロックには、「標準巻きロック」と「変形巻きロック」があります。オーガジーやジョーゼットなどの薄地の装飾的なかがり縫いに最適です。

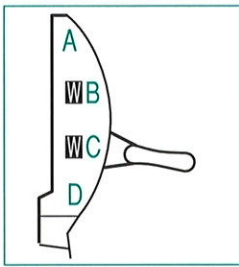
標準巻きロック

- 1 左針をはずして1本針にする。
- 2 3本の糸をかける (P17~22参照)。
- 3 「オーバー/ウェーブ切替ツマミ」を **O** に合わせる。



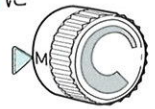
布端をひと折りしながら、細くかがりますが、縫い目の形状は普通ロックと同じです。かがりの厚みを出さず、きれいなシルエットに仕上げることができます。

- 4 「縫い目切替ダイヤル」を **C** に合わせる。
- 5 「送り目ダイヤル」を【巻きロック】の数字 **1~4** に合わせる。
(生地の種類や好みによって)



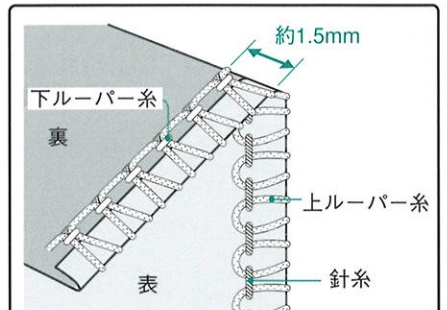
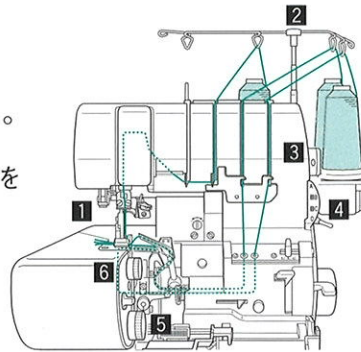
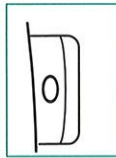
- 6 「かがり幅ダイヤル」を **M** に合わせる。

【Mは標準値です。生地の種類や好みによって調節してください】



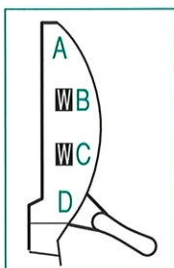
変形巻きロック

- 1 左針をはずして1本針にする。
- 2 3本の糸をかける (P17~22参照)。
- 3 「オーバー/ウェーブ切替ツマミ」を **O** に合わせる。



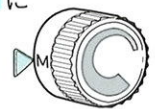
上ルーバー糸が、布端を裏側に巻き込みながら細くかがります。上ルーバー糸にウーリー糸を使用すると、細かい縫い目が強調され印象的です。

- 4 「縫い目切替ダイヤル」を **D** に合わせる。
- 5 「送り目ダイヤル」を【巻きロック】の数字 **1~4** に合わせる。
(生地の種類や好みによって)



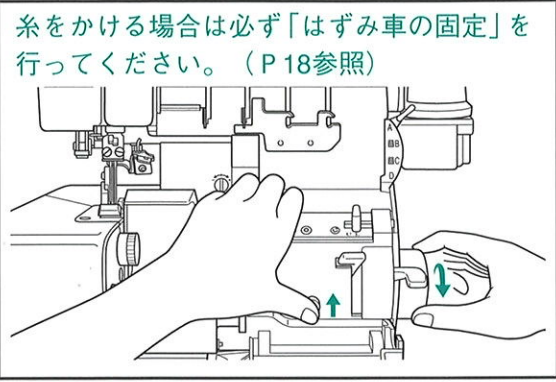
- 6 「かがり幅ダイヤル」を **M** に合わせる。

【Mは標準値です。生地の種類や好みによって調節してください】



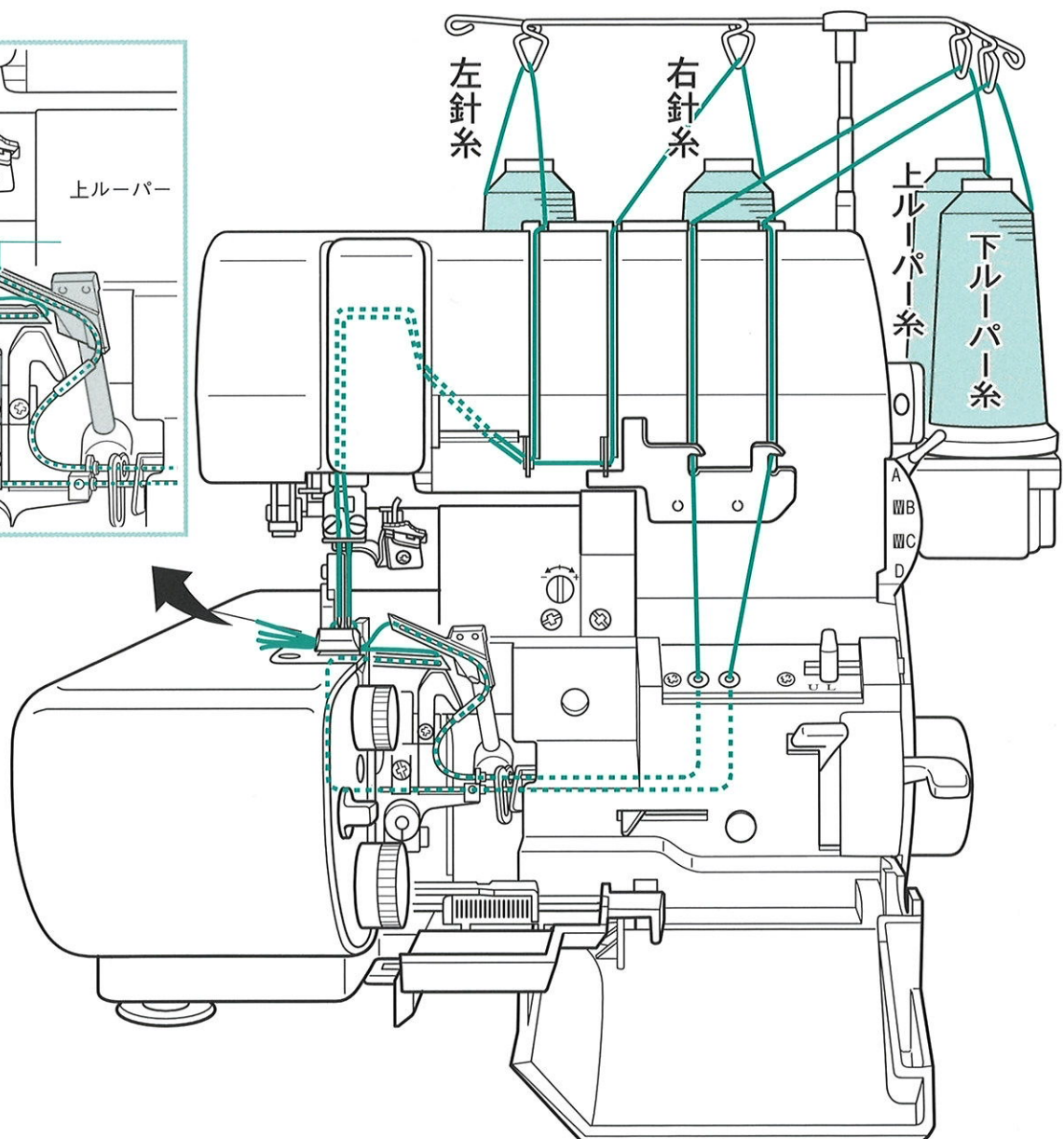
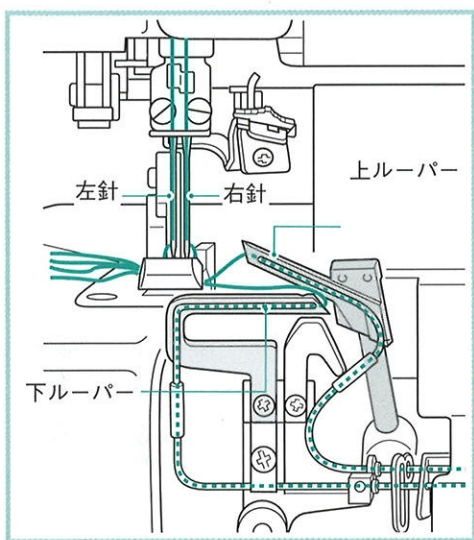
9 オーバーロックの糸かけ

糸かけ全体図



どの糸からかけてもかまいません。
糸が切れた場合は、その切れた糸だけをかけ直してください。

オーバーロック編



注意 ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

ルーパーの糸かけをするときはエアスルーシステム（自動エア糸通し）を使います。
 エアスルーシステムは、まず下記の「はずみ車の固定」を行ってください。
 ラクスルー（自動針糸通し）を使うときも同様に「はずみ車の固定」を行ってください。

また、糸かけが終わったら忘れずに「固定の解除」を行ってください。



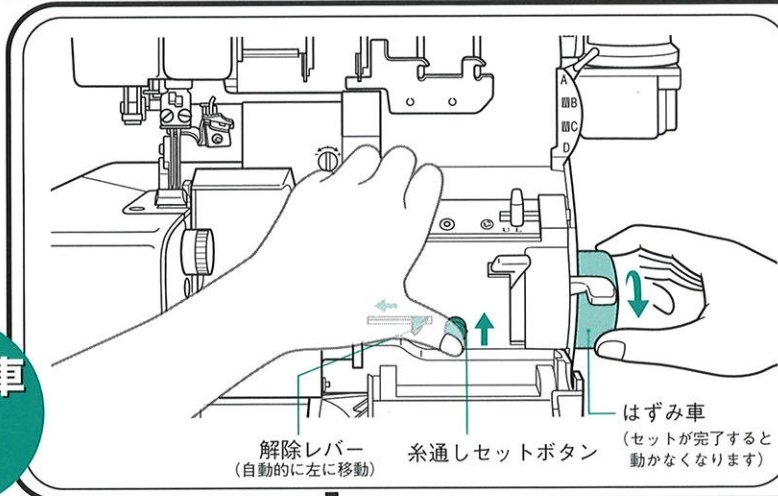
糸かけの前に

はずみ車の固定

- 1 押え上げレバーで押え金を上げる。
- 2 糸通しセットボタンを押しながら、カチッと音がするまで、はずみ車を回す。



はずみ車の
固定

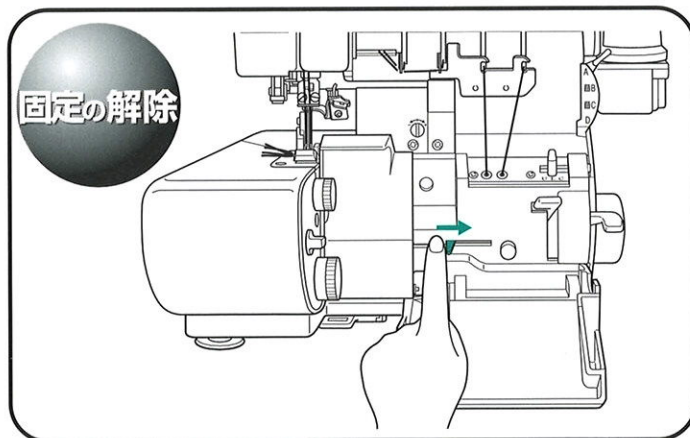


セットが完了すると、はずみ車が回らなくなり、解除レバーが左へ自動的に移動します。移動しない場合は、もう一度糸通しセットボタンをもっと強く押しながらくくりはずみ車を回してください。

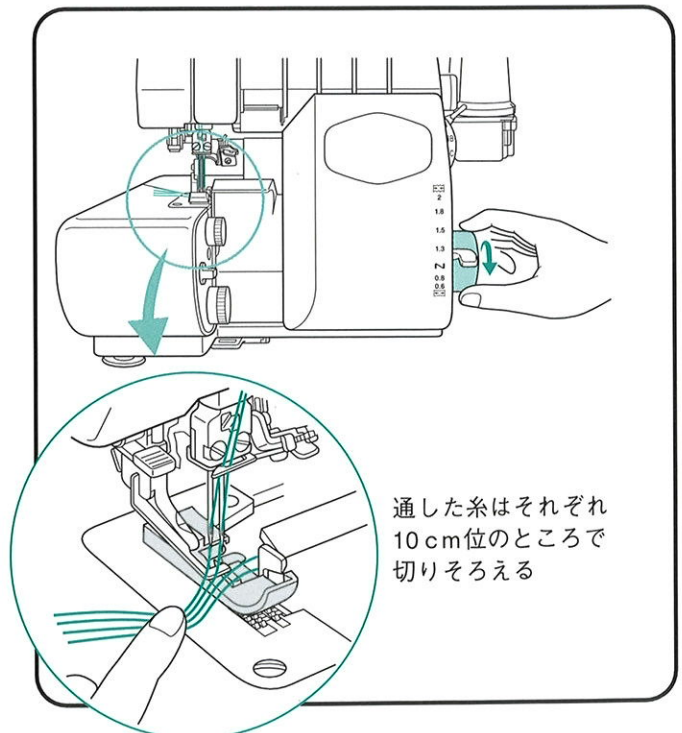
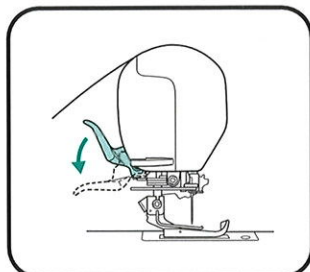
P 19およびP 22にしたがって糸をかける

糸かけが終わったら

- 1 解除レバーを右にスライドさせる。
- 3 最後に4本の糸を軽く押え、はずみ車を数回まわして、空環がうまくできるか確認する。

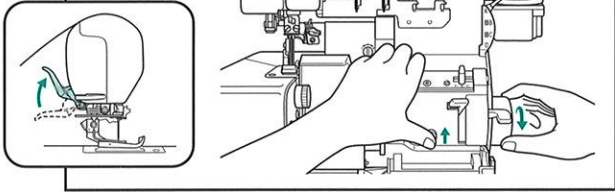


- 2 押え上げレバーで押え金を下げる。

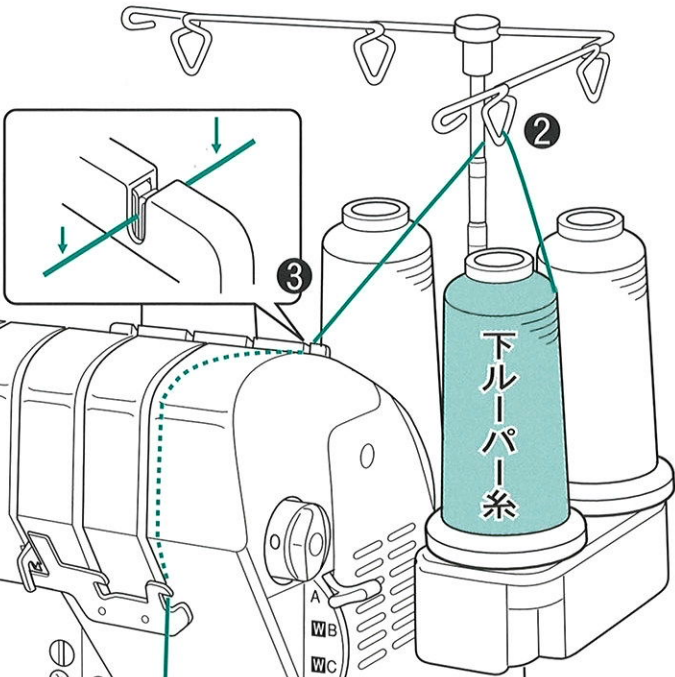


下ルーパー糸

1 糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。(P18参照) **重要**

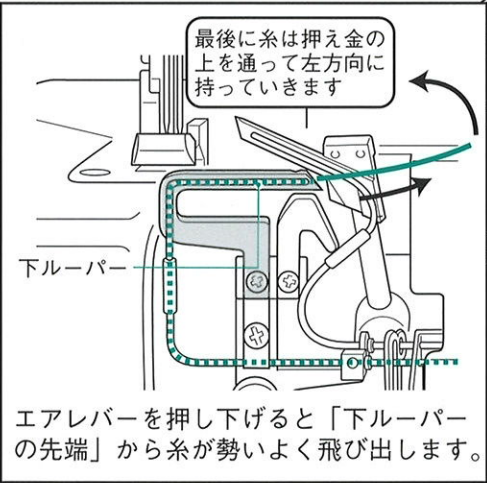
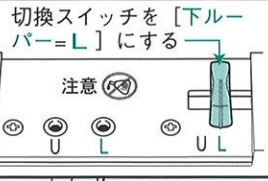


2 番号にしたがって糸をかけていく。

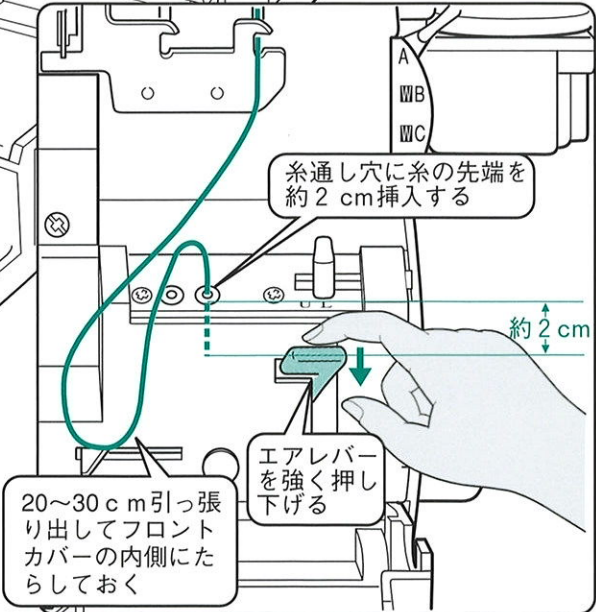


ワンポイント

糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアレバーを押しても糸は通りません。



エアレバーを押し下げると「下ルーパーの先端」から糸が勢いよく飛び出します。



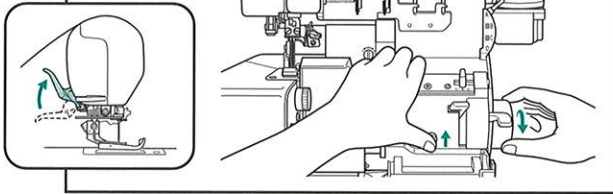
20~30cm引っ張り出してフロントカバーの内側にたらししておく

3 「固定の解除」(P18) をしてから縫い始める **重要**

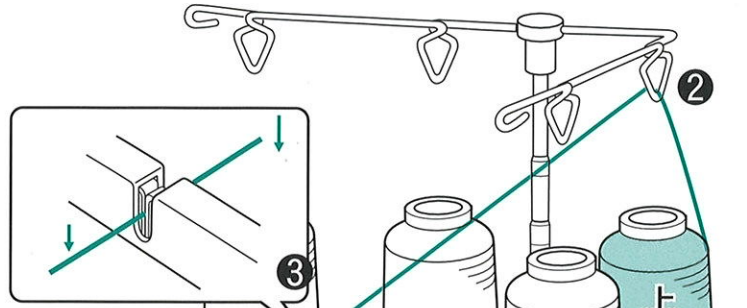
上ルーパー糸



1 糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。(P18参照) **重要**

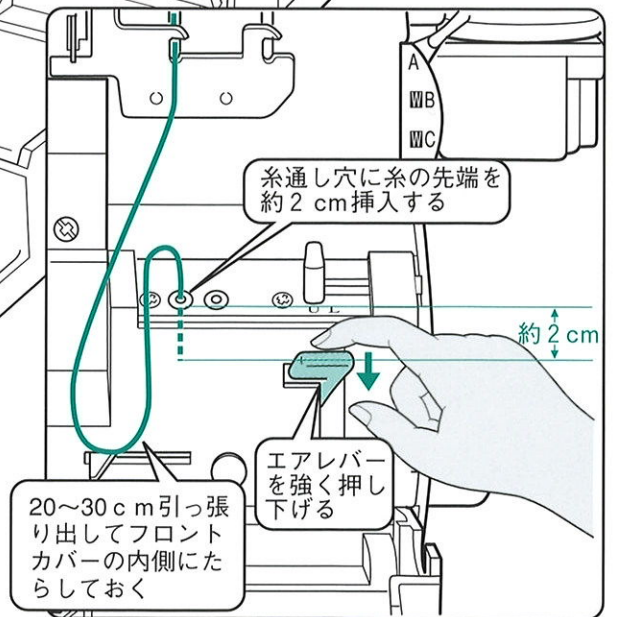
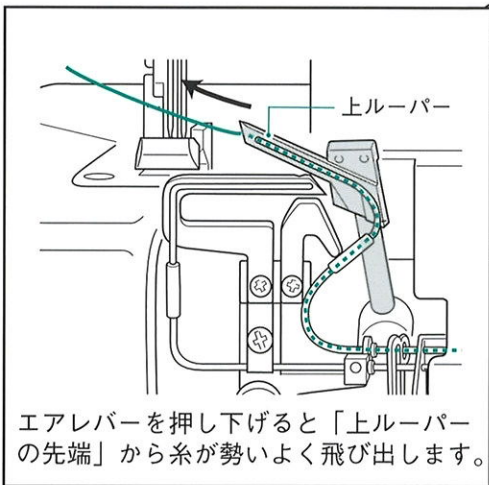
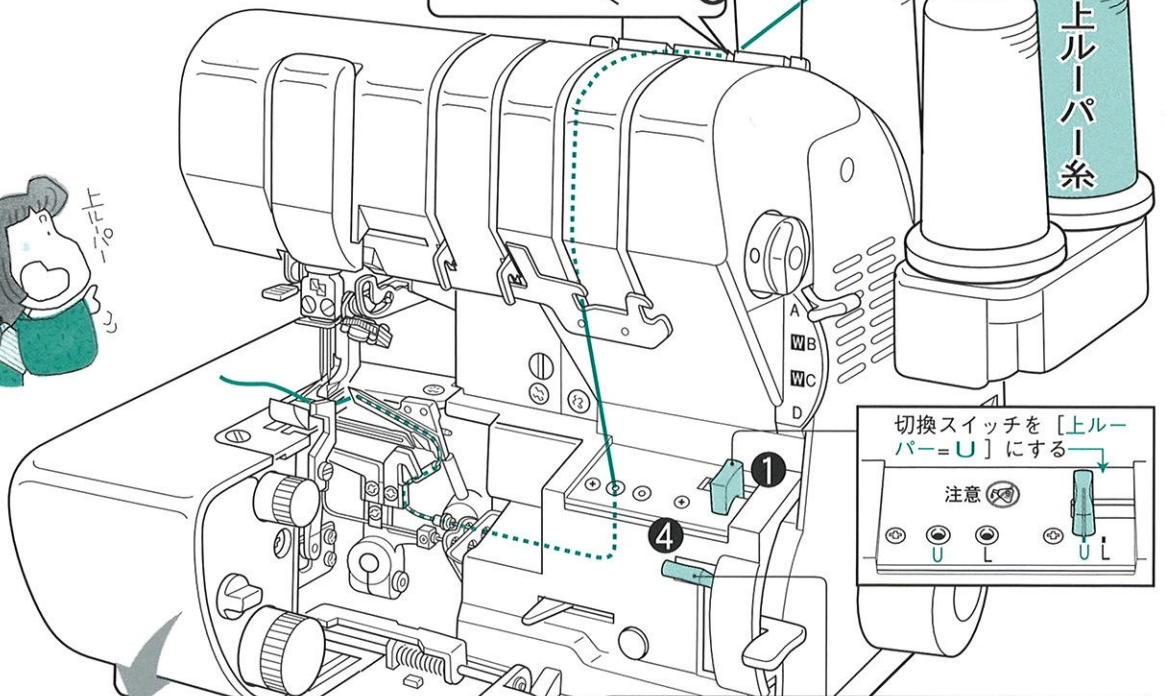


2 番号にしたがって糸をかけていく。



ワンポイント

糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアレバーを押しても糸は通りません。

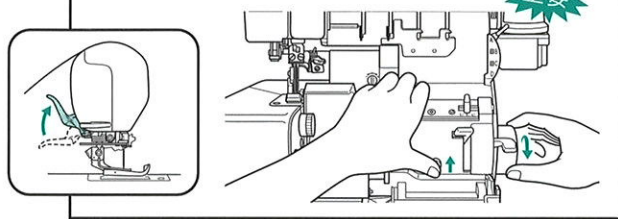


3 「固定の解除」(P18) をしてから縫い始める **重要**

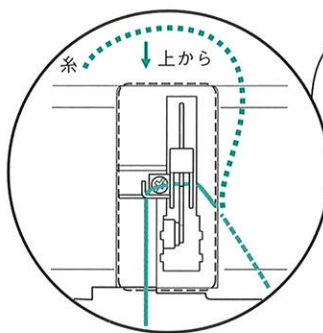
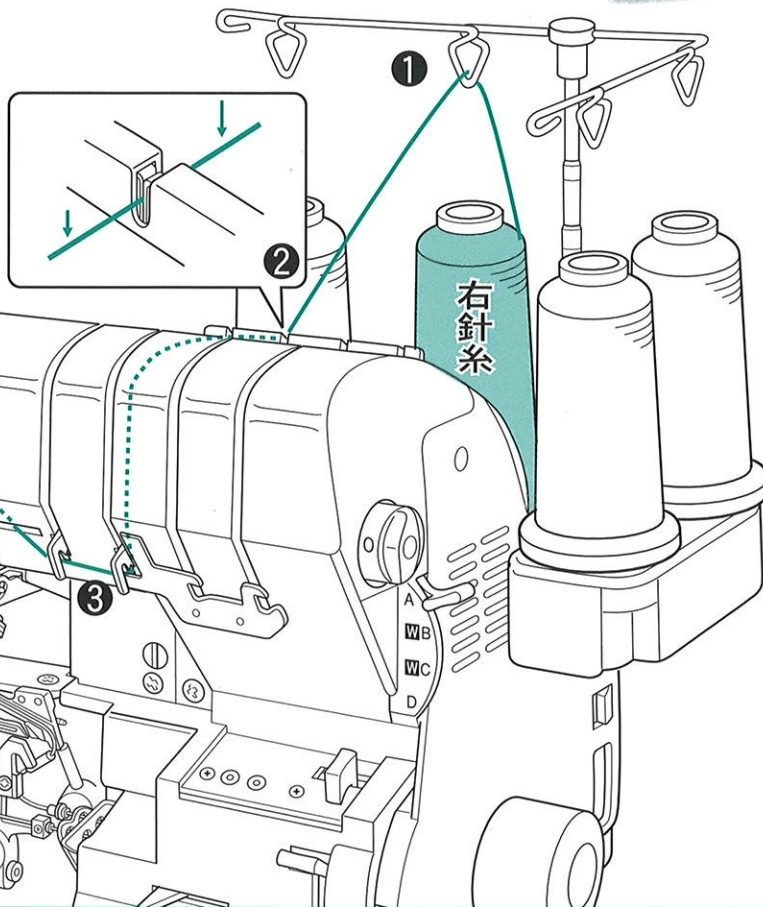
右針糸



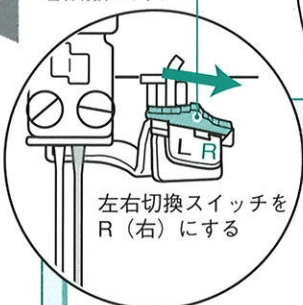
1 糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。(P18参照) **重要**



2 番号にしたがって糸をかけていく。



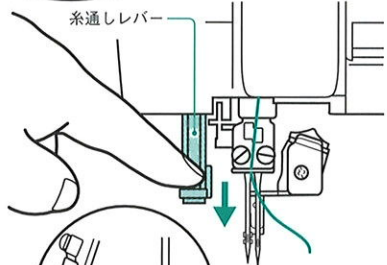
左右切換スイッチ



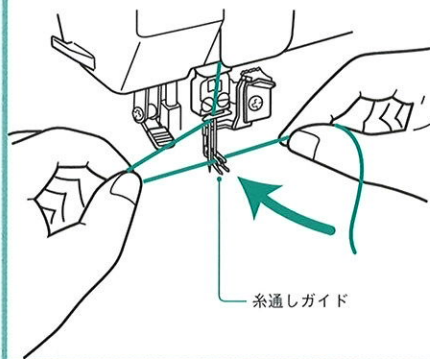
左右切換スイッチを R (右) にする

◆ラクスルー（自動針糸通し）の使い方◆

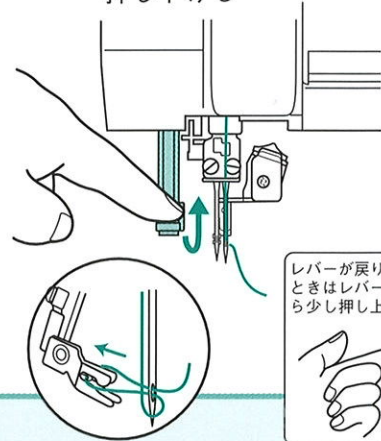
① 糸通しレバーを下げる



② 糸通しガイドに糸を差し込み、手を放す



③ 糸通しレバーもう一度押し下げる

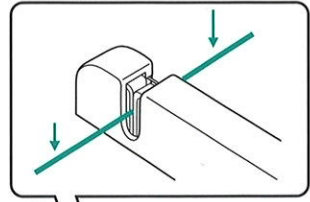
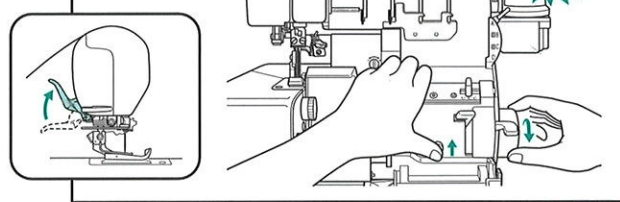


レバーが戻りにくいときはレバーを下から少し押し上げる

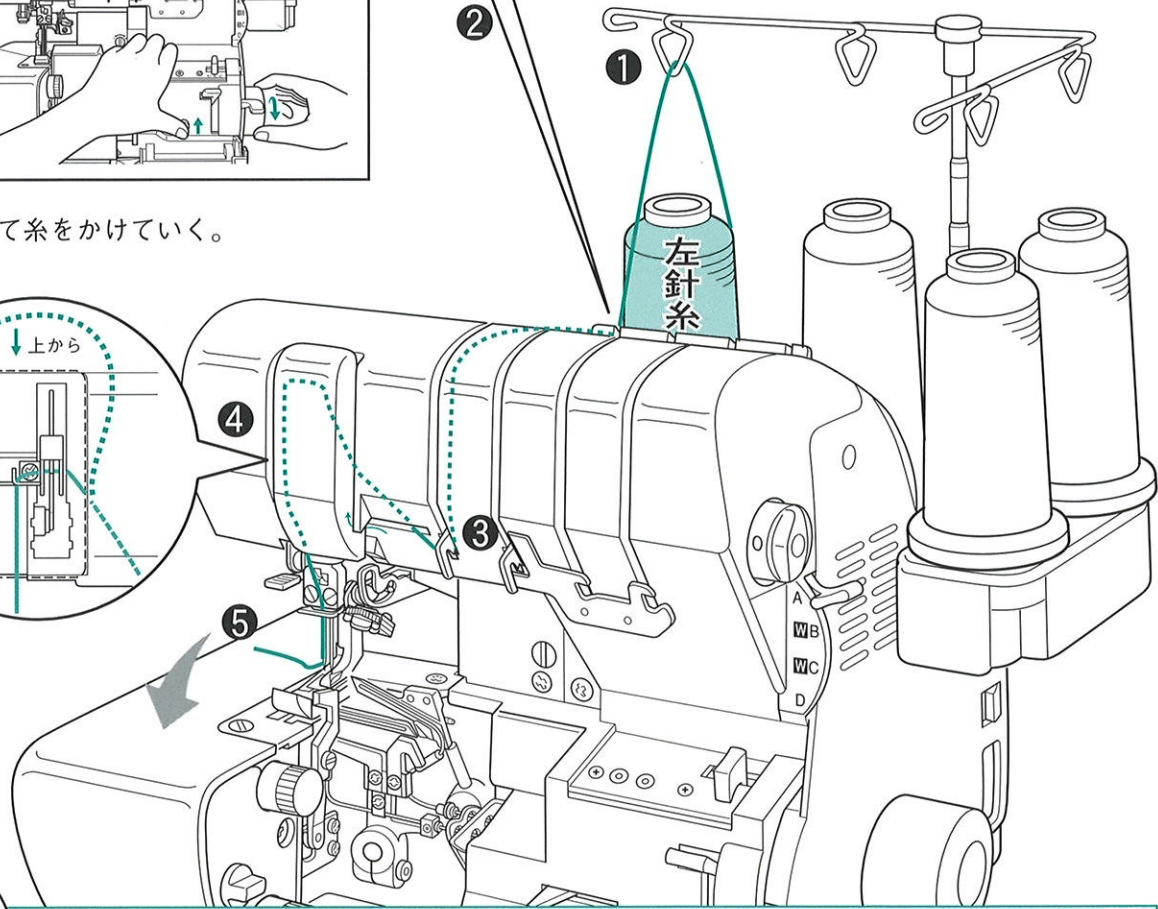
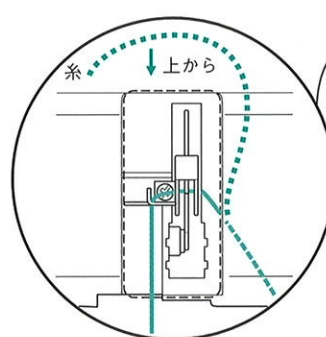
3 「固定の解除」(P18) をしてから縫い始める **重要**

左針糸

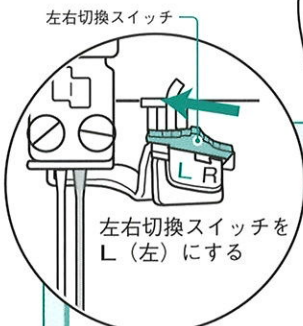
1 糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。(P18参照) **重要**



2 番号にしたがって糸をかけていく。



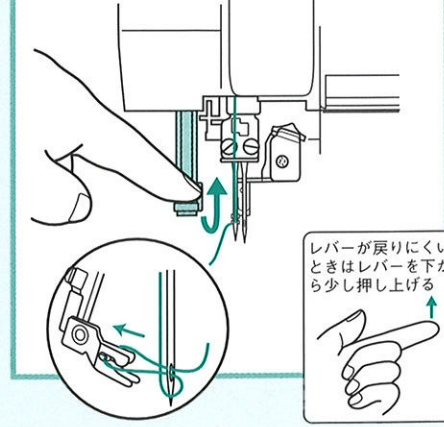
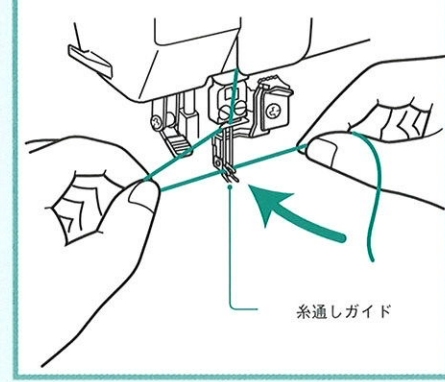
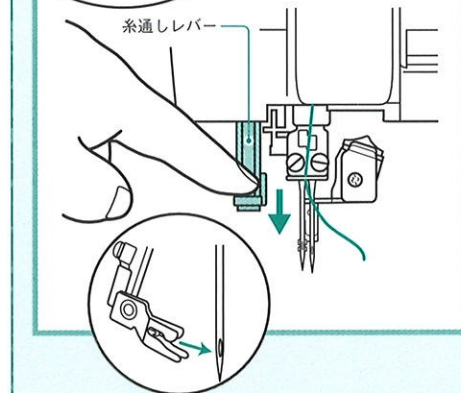
◆ラクスルー（自動針糸通し）の使い方◆



① 糸通しレバーを下げる

② 糸通しガイドに糸を差し込む

③ 糸通しレバーもう一度押し下げる



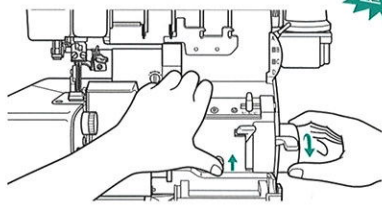
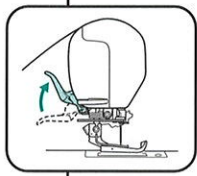
3 「固定の解除」(P18) をしてから縫い始める **重要**

太い糸のかけ方

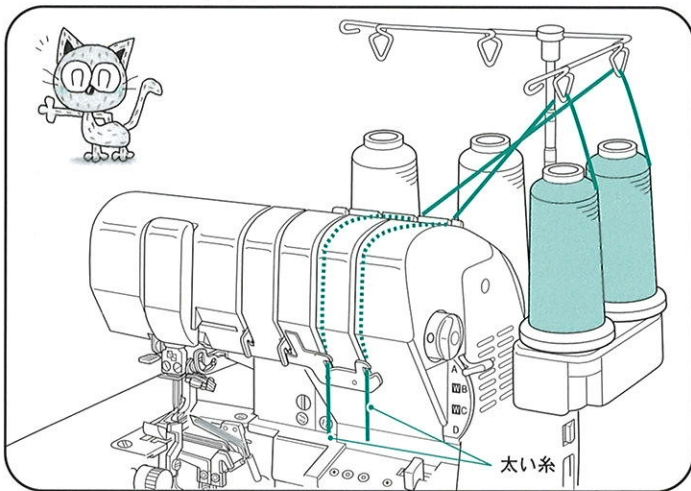
飾り糸として使われるような太い糸を、ルーパー糸として使用したい場合は、エアスルーシステム（自動エア糸通し）に入らない場合があります。そのような時は下記のようにすれば使用できます。

- 1** 糸通しをする場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。（P18参照）

重要

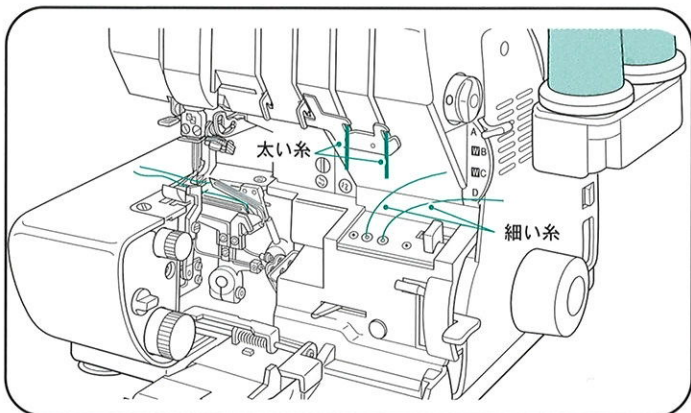


- 2** 糸通し穴の手前まで、太い糸を通しておく。（P19、20参照）

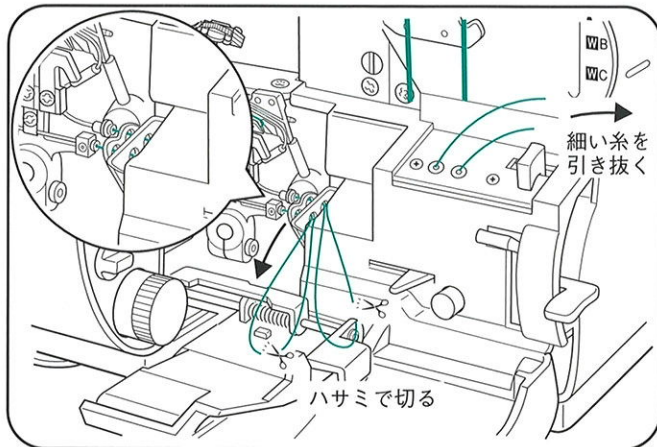


- 3** エアスルーを使って、まず細い糸を通したあと「固定の解除」を行う（P18参照）

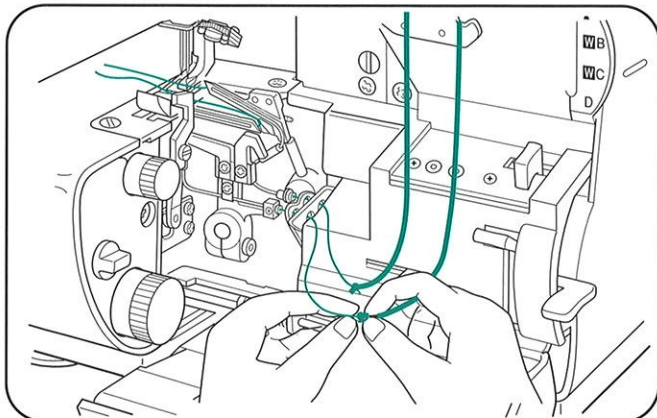
重要



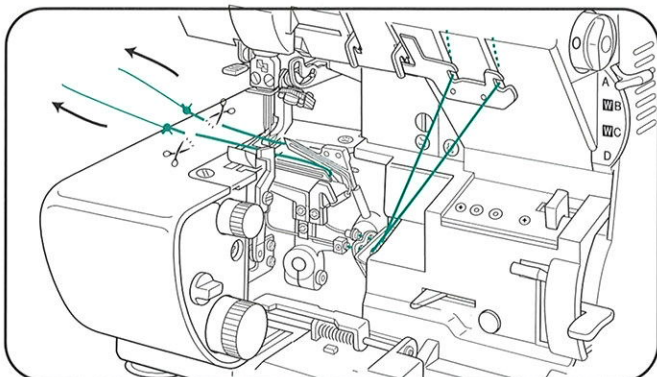
- 4** ピンセットで糸を引き出して切る。



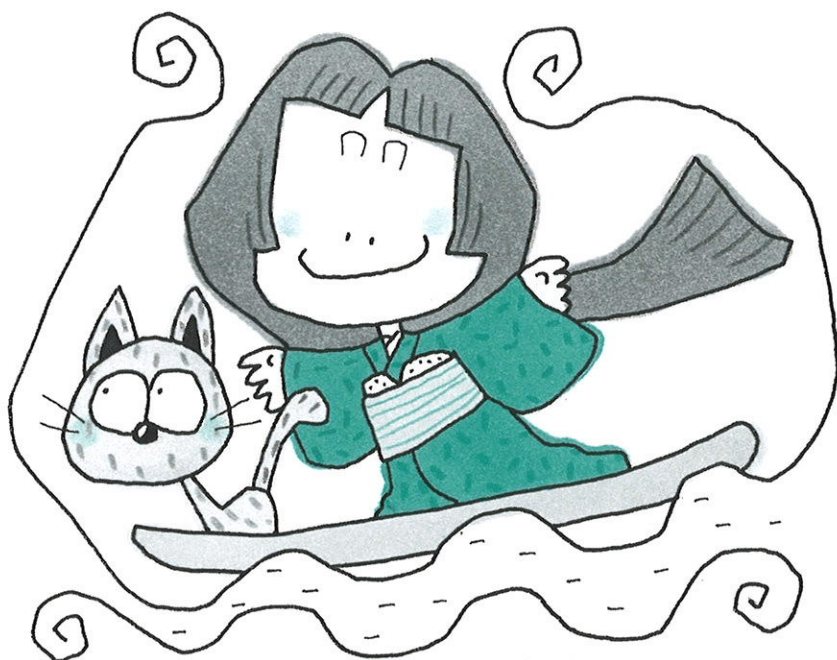
- 5** 太い糸と細い糸を結ぶ。



- 6** 結び目を引き出して切る。



ウェ〜ブロック編



ウェ〜ブロック編

10	ウェ〜ブロックへの切換	25
	ウェ〜ブロック	
	ウェ〜ブの巻きロック	
11	ウェ〜ブロックの糸かけ	
	糸かけ全体図	27
	糸かけの前に／糸かけが終わったら	28
	下ルーパー糸	29
	上ルーパー糸	30
	針糸	31
	太い糸のかけ方	32

ウェーブブロックへの切替

ウェーブブロックは1本針3本糸ロックで縫います。

またウェーブブロックでも巻きロックができます。

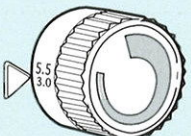
ウェーブの切替は、「オーバー/ウェーブ切替つまみ」を **W** にし、縫い目切替ダイヤルを **WB**: ウェーブブロックか、**WC**: ウェーブの巻きロックにします。また糸のかけ方もオーバーロックとは違いますのでご注意ください。その他、かがり幅や送り目の変更はオーバーロックと同じです。

1 右針を使用する。左針をはずす。

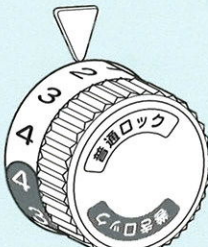
針

2 糸をかける
(P27~31参照)


6 かがり幅ダイヤル



5 送り目ダイヤル

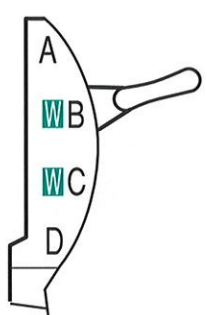


3 オーバーロック/ウェーブブロック切替つまみ



Wにあわせる

4 縫い目切替ダイヤル



WB: ウェーブブロック
WC: ウェーブの巻きロック

ウェーブブロック編

25 | 10 ウェーブブロックへの切替

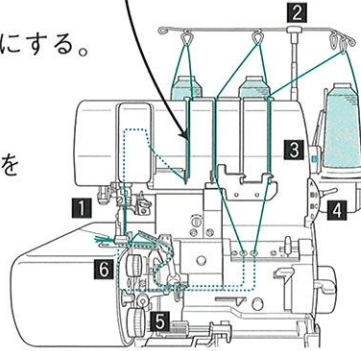
ワンポイント

縫い目がきれいにできない場合は溝の間にある2枚の糸調子皿から糸がはずれていることがあります。この2枚の皿で糸をはさみ、縫い目を整えています。ここから糸がはずれるときれいな縫い目になりません。押え上げレバーを上げ、この皿を開いてから、もう一度溝に糸を入れ直してください。入れ直した後、押え上げレバーを下げることを忘れないで！

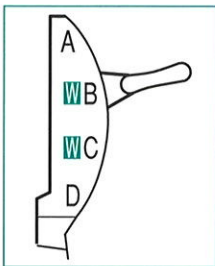
溝の間に2枚の糸調子皿があるよ！

ウェーブロック

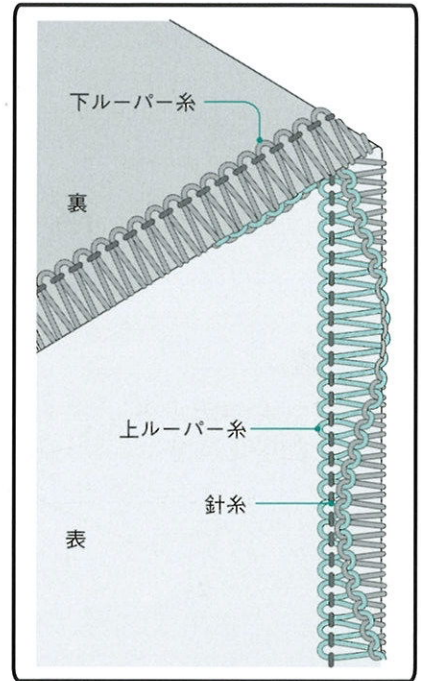
- 1 左針をはずして、右針だけの1本針にする。
- 2 糸を3本かける (P27~31参照)。
- 3 「オーバー/ウェーブ切替ツマミ」を **W** に合わせる。



- 4 「縫い目切替ダイヤル」を **WB** に合わせる。
- 5 「送り目ダイヤル」を【普通ロック】の数字1~4に合わせる。
(生地の種類や好みによって)

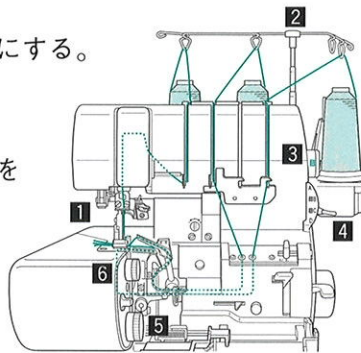
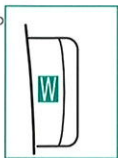


- 6 「かがり幅ダイヤル」を合わせる。
【下段の数字で合わせる】
(生地の種類や好みによって)

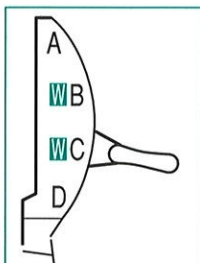


ウェーブの巻きロック

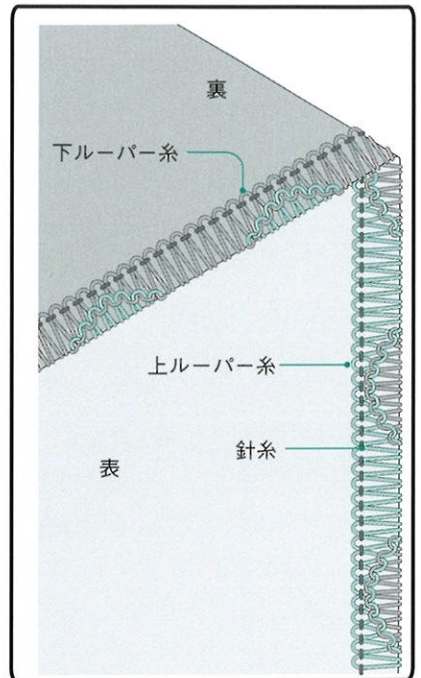
- 1 左針をはずして、右針だけの1本針にする。
- 2 糸を3本かける (P27~31参照)。
- 3 「オーバー/ウェーブ切替ツマミ」を **W** に合わせる。



- 4 「縫い目切替ダイヤル」を **WC** に合わせる。
- 5 「送り目ダイヤル」を【巻きロック】の数字1~4に合わせる。
(生地の種類や好みによって)



- 6 「かがり幅ダイヤル」を **M** に合わせる。
【Mは標準値です。生地の種類や好みによって調節してください】

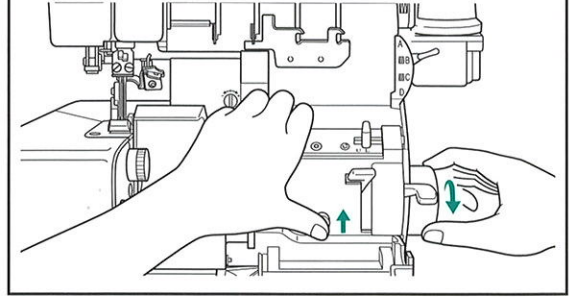


糸かけ 全体図

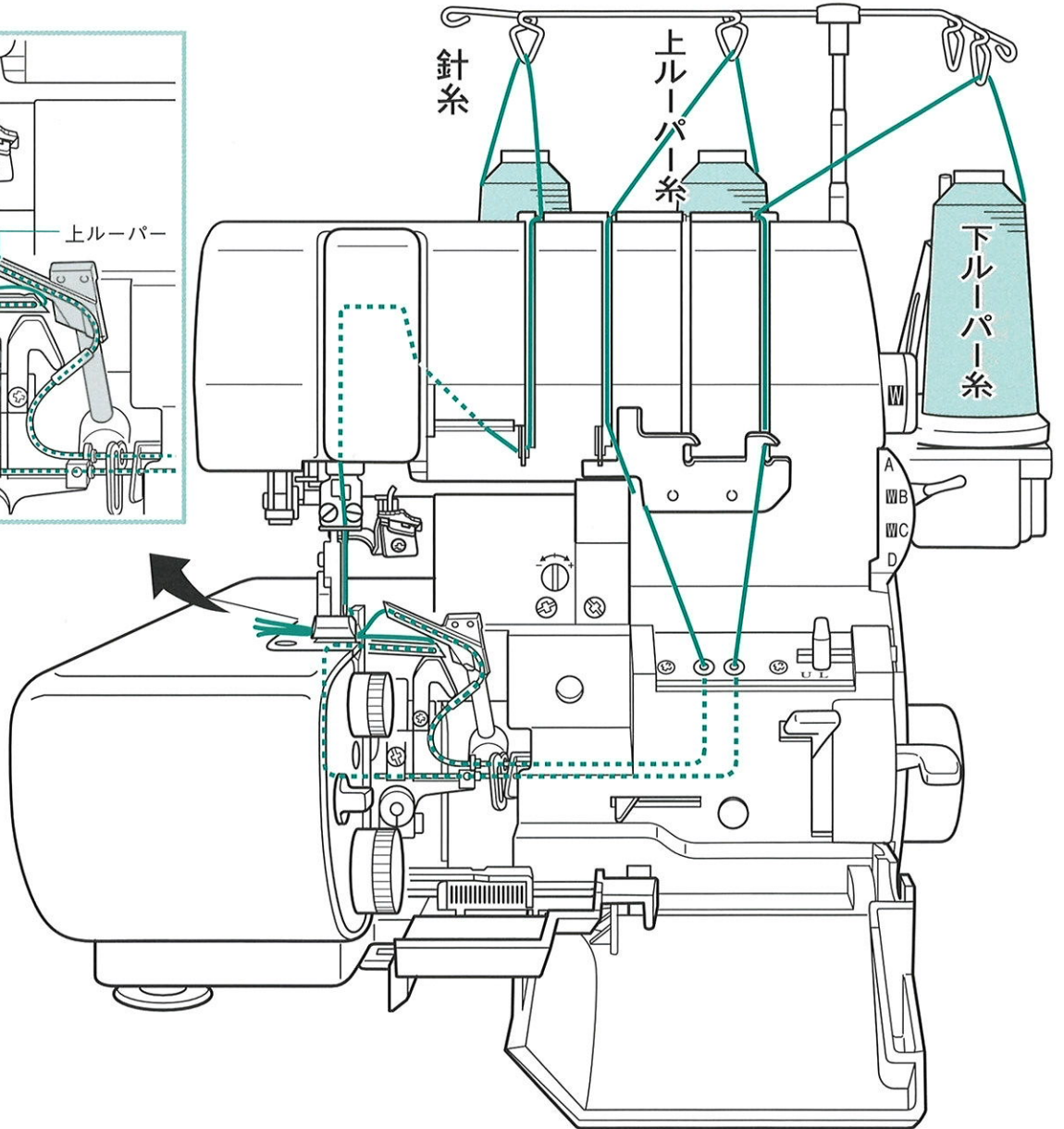
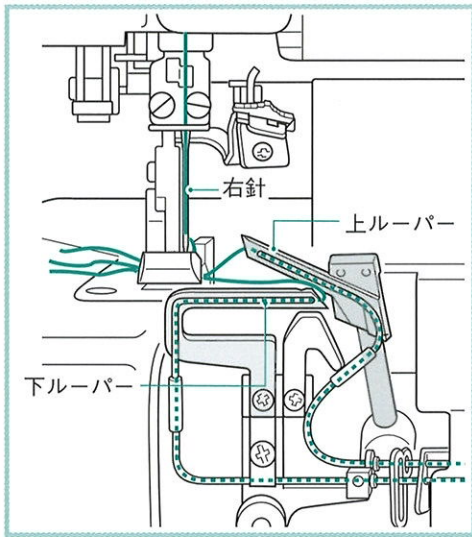
OK
OK
OK
OK
OK
OK
OK
OK
OK
OK



糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。（P28参照）



ウェ〜ブロックは1本針3本糸で縫います。左針をはずして、右針1本にしてください。
糸は、どの糸からかけてもかまいません。
糸が切れた場合は、その切れた糸だけをかけ直してください。



注意 ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

ウェ〜ブロック編

ルーパーの糸かけをするときはエアスルーシステム（自動エア糸通し）を使います。
 エアスルーシステムは、まず下記の「はずみ車の固定」を行ってください。
 ラクスルー（自動針糸通し）を使うときも同様に「はずみ車の固定」を行ってください。



また、糸かけが終わったら忘れずに「固定の解除」を行ってください。

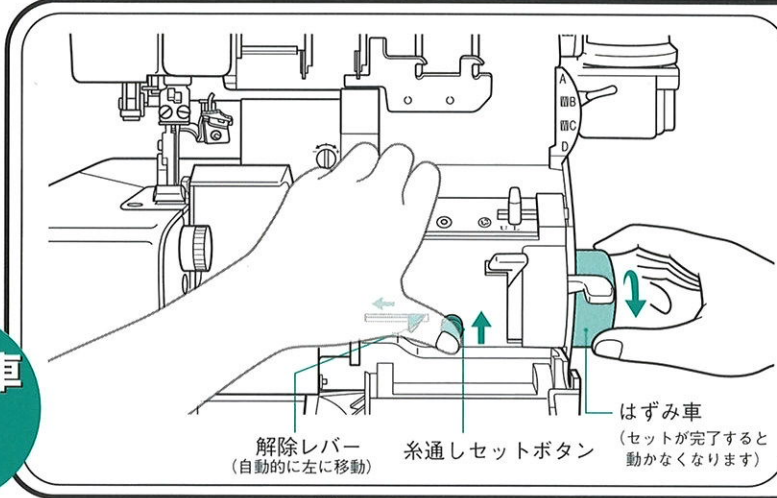
糸かけの前に

はずみ車の固定

1 押え上げレバーで押え金を上げる。



2 糸通しセットボタンを押しながら、カチッと音がするまで、はずみ車を回す。



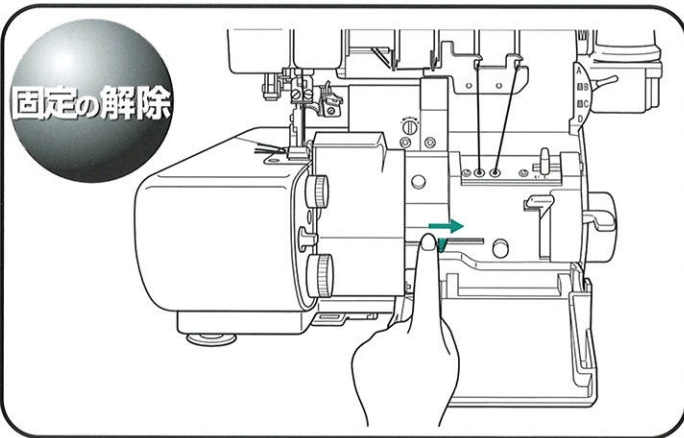
セットが完了すると、はずみ車が回らなくなり、解除レバーが左へ自動的に移動します。移動しない場合は、もう一度糸通しセットボタンをもっと強く押しながらゆっくりはずみ車を回してください。

はずみ車の固定

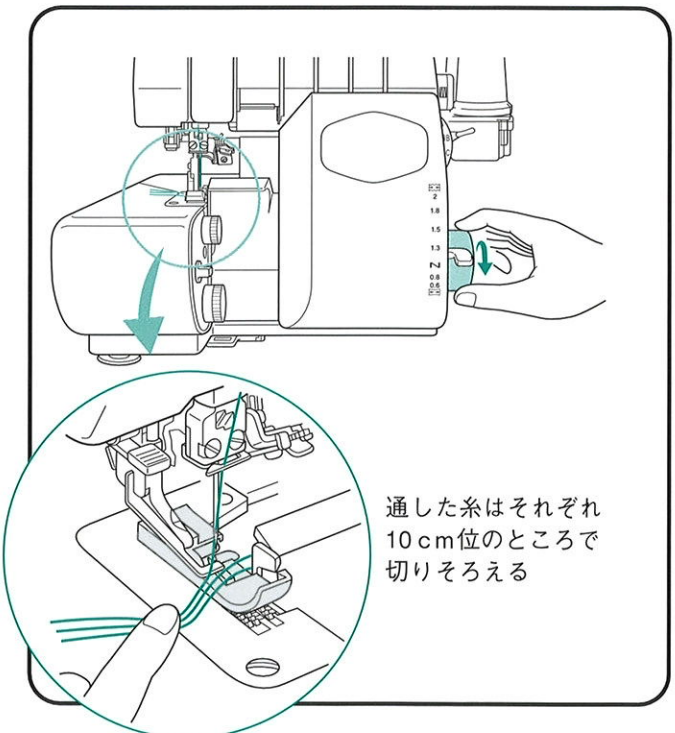
P29 および P31 にしたがって糸をかける

糸かけが終わったら

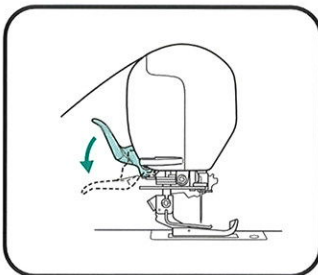
1 解除レバーを右にスライドさせる。



3 最後に3本の糸を軽く押え、はずみ車を数回まわして、空環がうまくできるか確認する。



2 押え上げレバーで押え金を下げる。



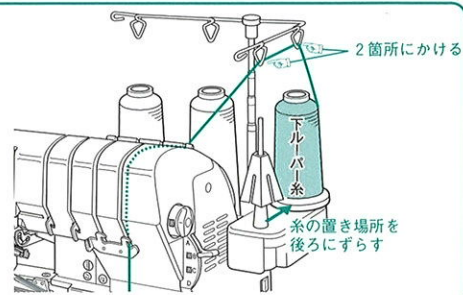
通した糸はそれぞれ10cm位のところで切りそろえる

ウェーブブロック編

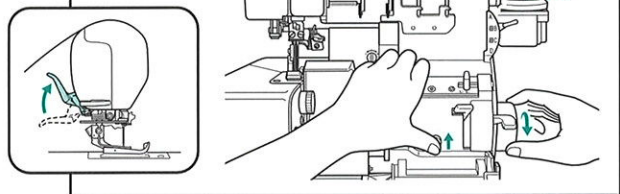
下ルーパー糸

ワンポイント

糸ヌケの悪い糸やカラミ
易い糸は、右図のように
糸をかけるとスムーズに
縫えます。



1 糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。(P28参照) **重要**

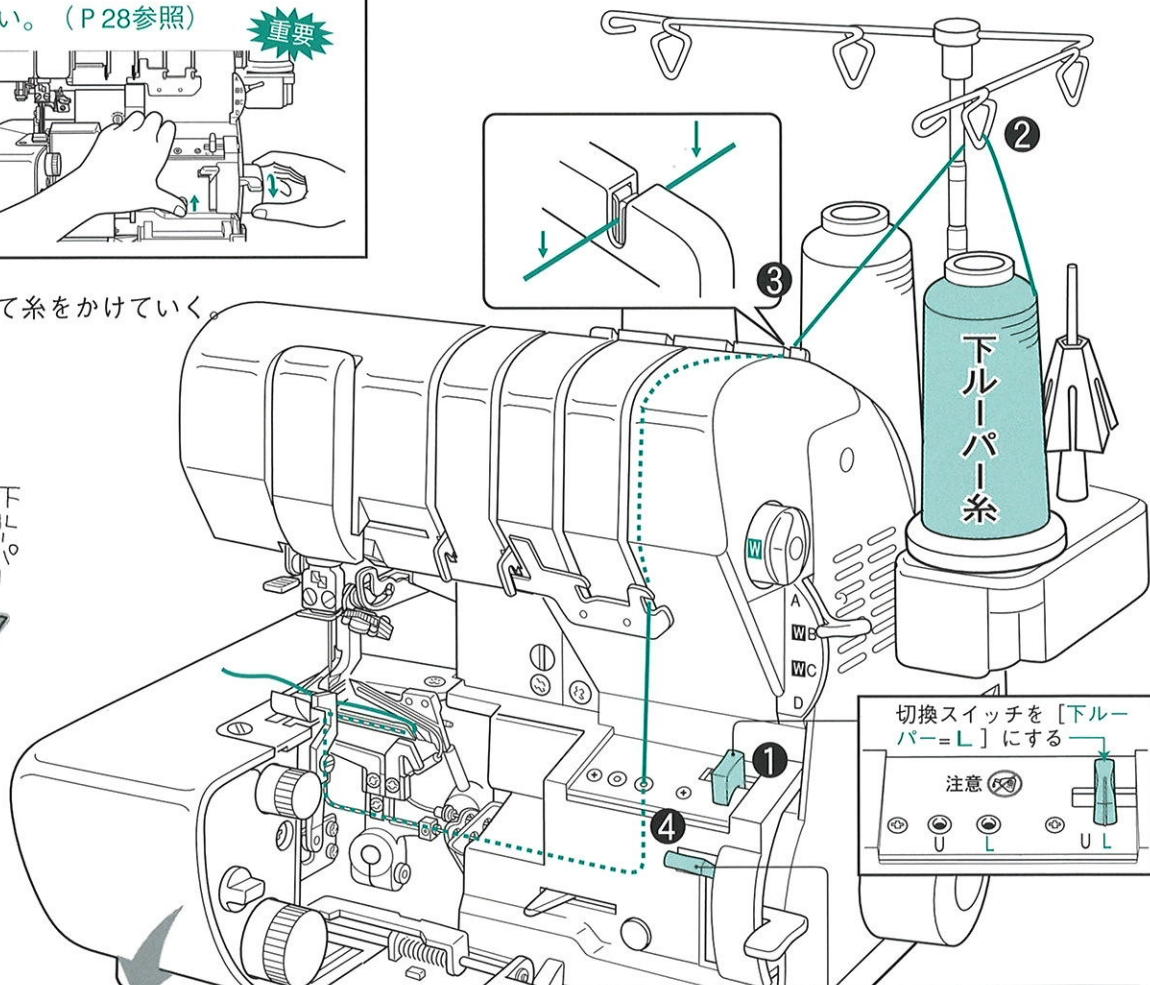


2 番号にしたがって糸をかけていく。



ワンポイント

糸を交換する場合は
ルーパーから糸を完全
に抜き取ってくださ
い。古い糸が残っ
ているとエアレバ
ーを押しても糸は通
りません。

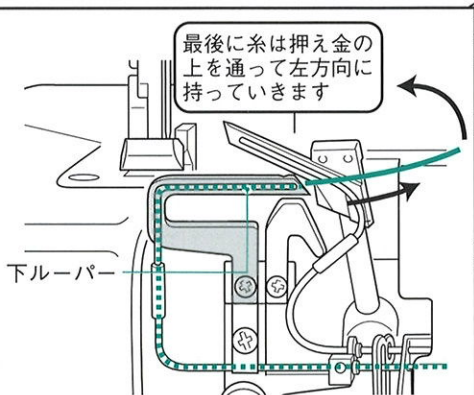


切換スイッチを「下ルーパー=L」にする

注意

U L U L

最後に糸は押え金の上を通って左方向に持っていきます



エアレバーを押し下げると「下ルーパーの先端」から糸が勢いよく飛び出します。

糸通し穴に糸の先端を約2cm挿入する

約2cm

エアレバーを強く押し下げる

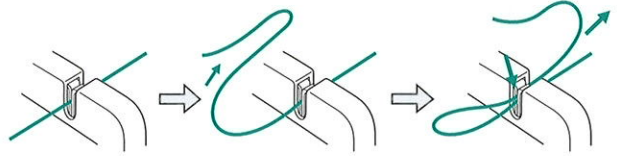
20~30cm引っ張り出してフロントカバーの内側にたらしておく

3 「固定の解除」(P28) をしてから縫い始める **重要**

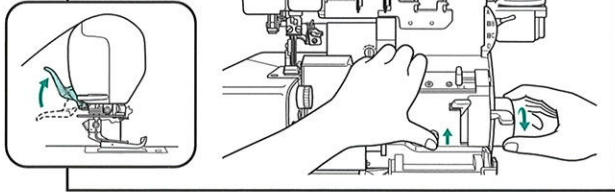
上ルーパー糸

ワンポイント

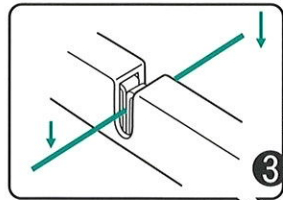
●ワンタッチ（後部）糸案内からカンタンに糸をはずす方法



1 糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。（P28参照） **重要**



2 番号にしたがって糸をかけていく。



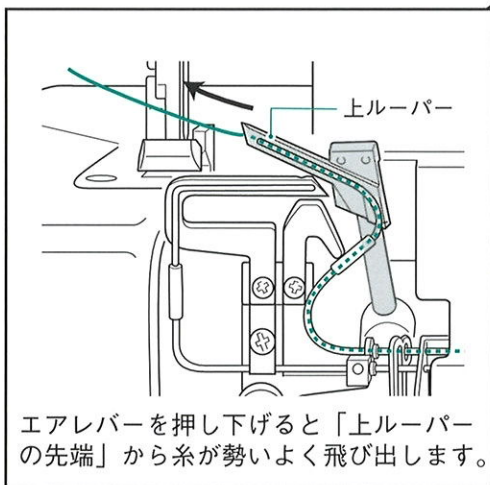
注意

左から2番目の溝に！



ワンポイント

糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアレバーを押しても糸は通りません。



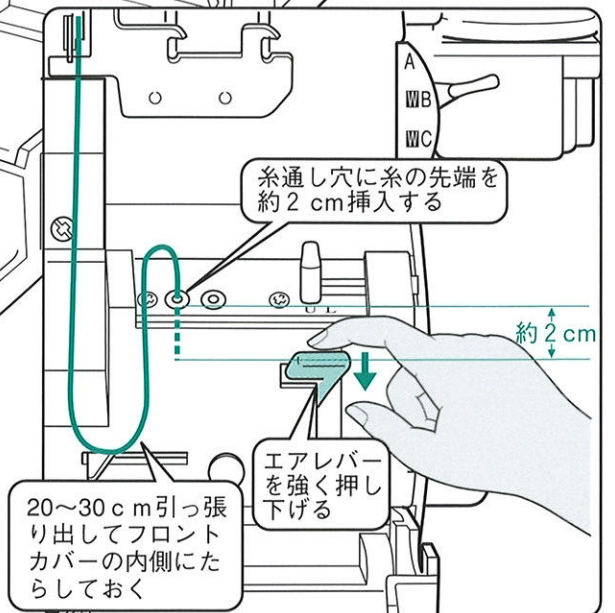
エアレバーを押し下げると「上ルーパーの先端」から糸が勢いよく飛び出します。

3 「固定の解除」(P28) をしてから縫い始める **重要**



切換スイッチを「上ルーパー=U」にする

注意



糸通し穴に糸の先端を約2 cm挿入する

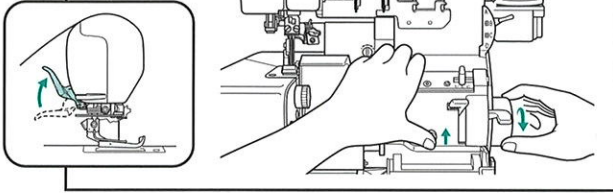
約2 cm

エアレバーを強く押し下げる

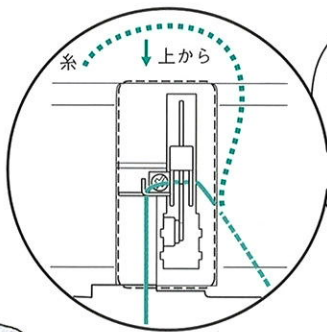
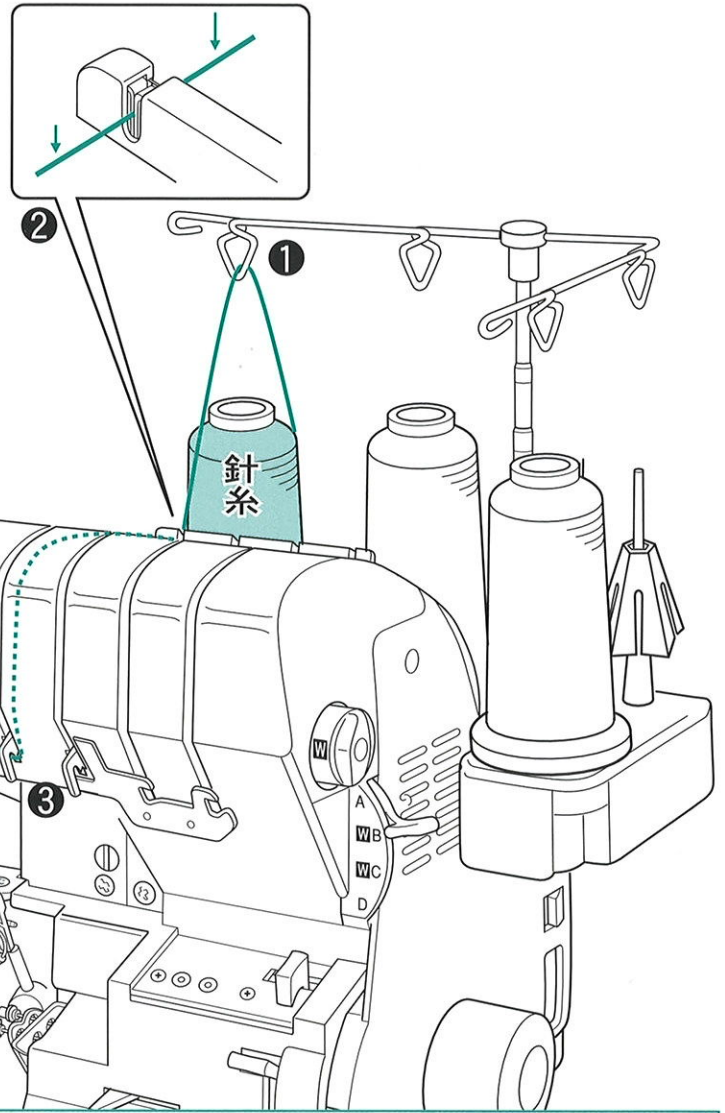
20~30 cm引っ張り出してフロントカバーの内側にたらししておく

針糸

1 糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。(P28参照) **重要**



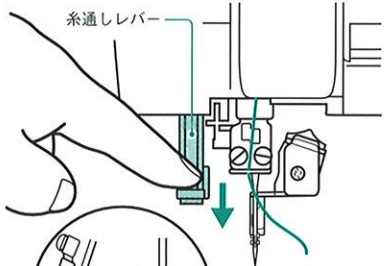
2 番号にしたがって糸をかけていく。



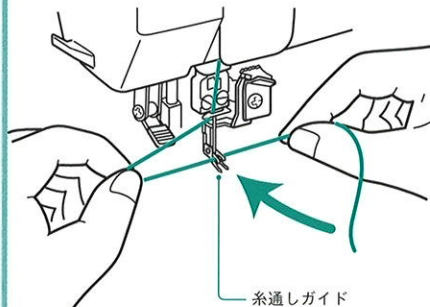
◆ラクスルー（自動針糸通し）の使い方◆

左右切換スイッチを R (右) にする

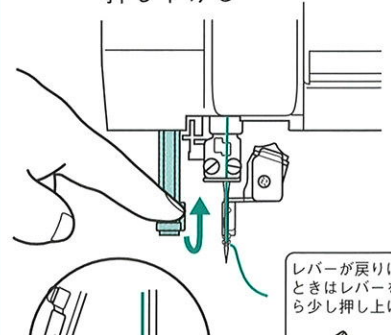
① 糸通しレバーを下げる



② 糸通しガイドに糸を差し込み、手を放す



③ 糸通しレバーもう一度押し下げる



レバーが戻りにくいときはレバーを下から少し押し上げる

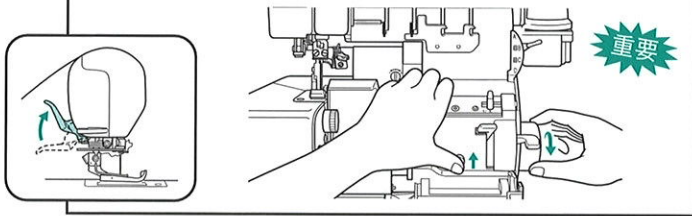


3 「固定の解除」(P28) をしてから縫い始める **重要**

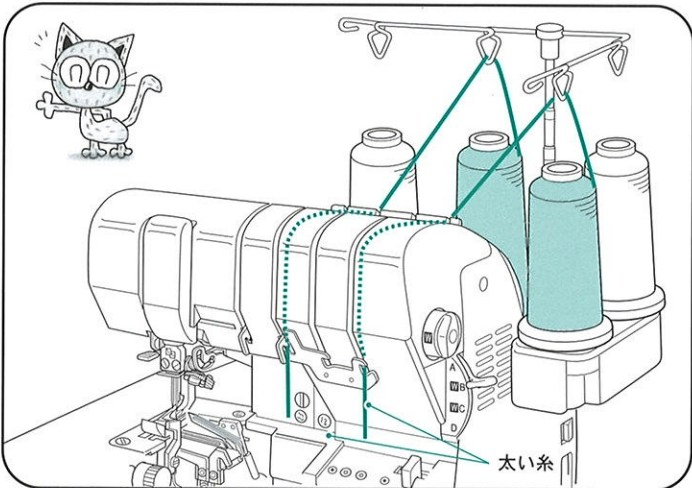
太い糸のかけ方

飾り糸として使われるような太い糸を、ルーパー糸として使用したい場合は、エアスルーシステム（自動エア糸通し）に入らない場合があります。そのような時は下記のようにすれば使用できます。

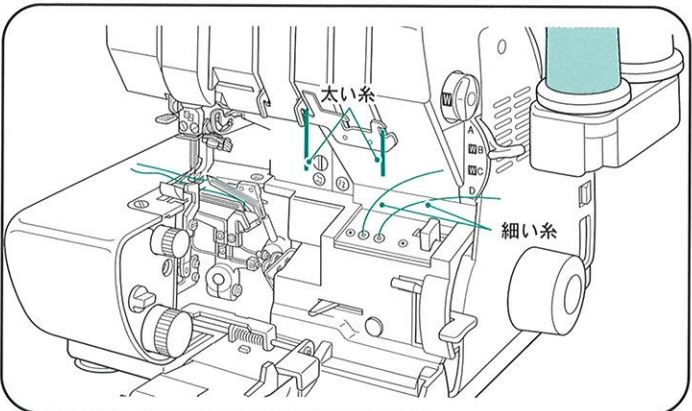
- 1** 糸通しをする場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。（P28参照）



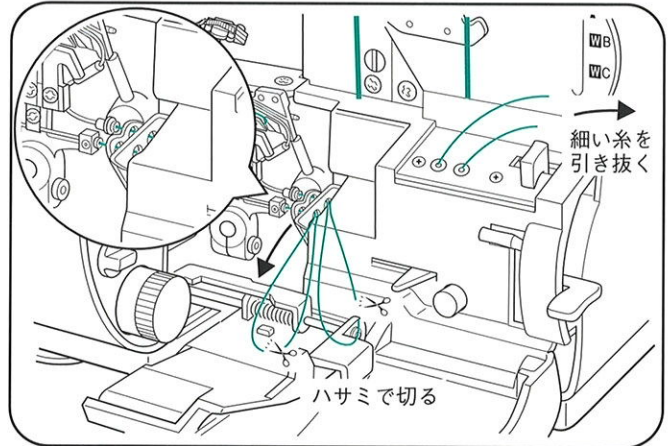
- 2** 糸通し穴の手前まで、太い糸を通しておく。（P29、30参照）



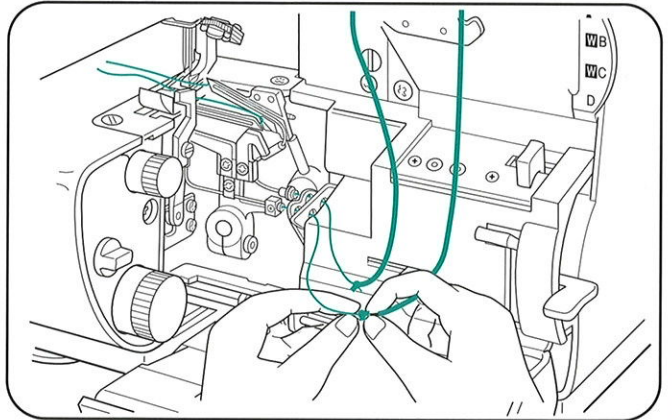
- 3** エアスルーを使って、まず細い糸を通したあと **重要**（P29、30参照）、「固定の解除」を行う（P28参照）



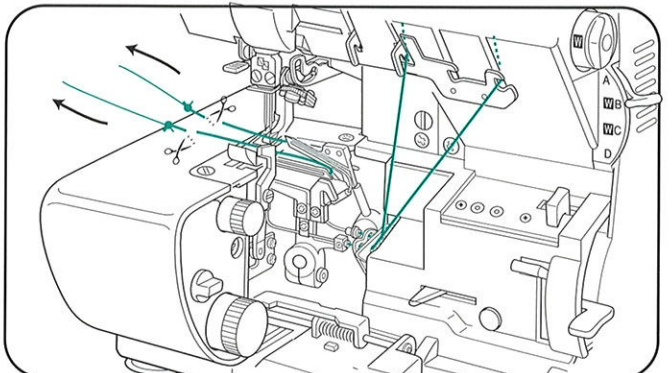
- 4** ピンセットで糸を引き出して切る。



- 5** 太い糸と細い糸を結ぶ。



- 6** 結び目を引き出して切る。



メンテナンス編



メンテナンス編

- 12 メンテナンス 34
ルーパーズレッダーの使い方
／針の交換／メスの交換／掃除と給油について
- 13 修理を依頼される前に 36
仕様



ルーパースレッダーの使い方

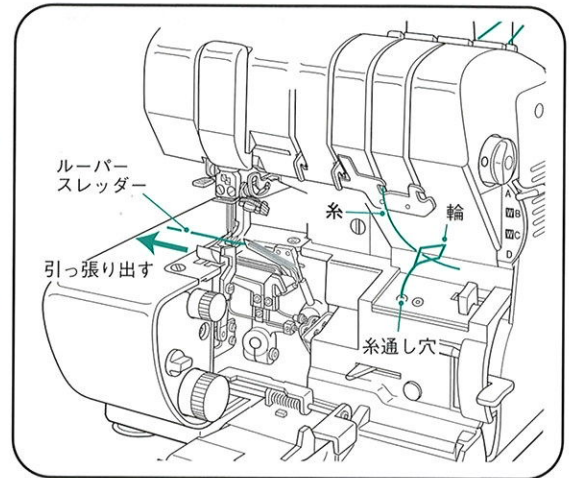
“エアスルーシステム”のパイプの掃除具として、また「糸通し穴」に特に入りにくい糸を通す糸通し具として、使用すると便利です。

1 掃除具として

「糸通し穴」から『ルーパースレッダー』を差し込み、ルーパースの先端から出てきたら引っ張り出します。パイプにたまった糸クズが取れます。

2 糸通し具として

『ルーパースレッダー』の輪に、通したい糸を数cm入れ、①と同様に「糸通し穴」に差し込んで、ルーパースの先端から引っ張り出します。



バルキー押えの使い方

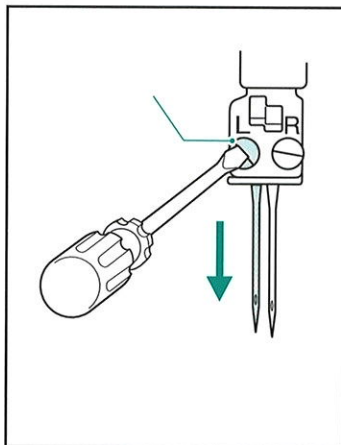
針は消耗品です。針先が曲がったり、磨耗していると糸切れや目飛びの原因になります。早めに交換してください。

このミシンの針は必ず **オルガンHAX1SP** をご使用ください。

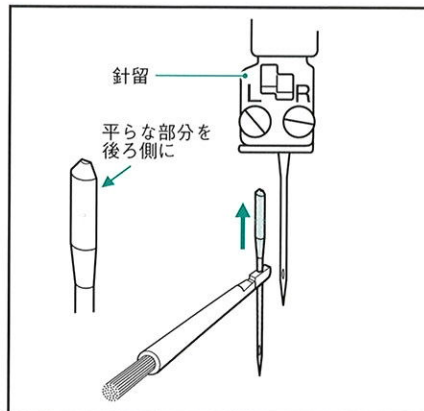
この針以外は使用できません。ただし、特に針どおりの悪い生地を縫う場合は「オルガンHA×1」の針の使用をおすすめします。

1 はずみ車を回して、針を一番上まで上げます。

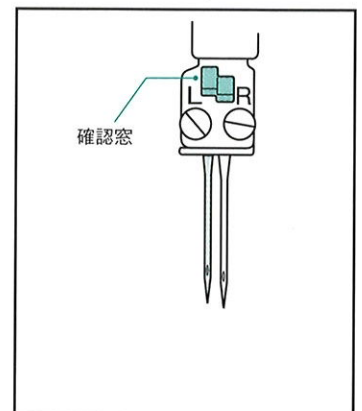
2 付属のドライバーで針止めネジをゆるめて、針ははずす。



3 新しい針を付属の掃除用ブラシに差し込み「針頭部の平らな面」が後ろ向きになるようにして、針留の穴の奥まで差し込む。



4 確認窓で針が一番奥まで差し込まれていることを確認してから、針止めネジをしめる。

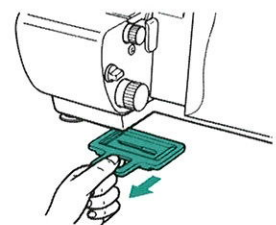


注意 ケガをする恐れがあります。

ルーパースレッダーを使用する場合や、針の交換をする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

ワンポイント

針をメスカバーの奥に落としてしまった場合は、ミシン底部にある取り出し口から取り出してください。

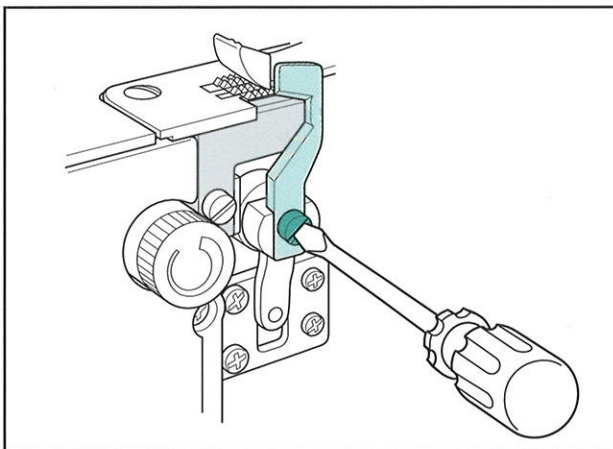




メスの交換

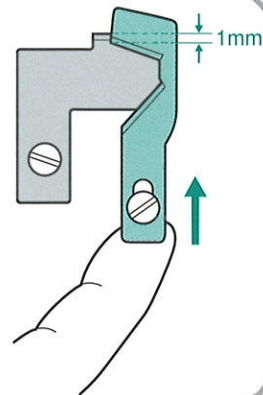
メスは消耗品です。メスが切れなくなった場合は、通常「上メス」を交換してください。

- 1 フロントカバーとメスカバーを開く。
- 2 はずみ車を回して、上メスを最下点にする。
- 3 上メスの止めネジをゆるめて、上メスをははずす。
- 4 新しい上メスを取り付け、下メスに対して、上メスの刃先が1mm程度沈み込んだ位置で上メス止めネジをしめる。



ワンポイント

上メスを最下点にして指先で上メスを下から押し上げた位置がだいたい1mm程度沈み込んだ位置になります。このとき、「かがり幅ダイヤル」の目盛りを最小位置にしておくことで取り付け作業が容易に行えます。



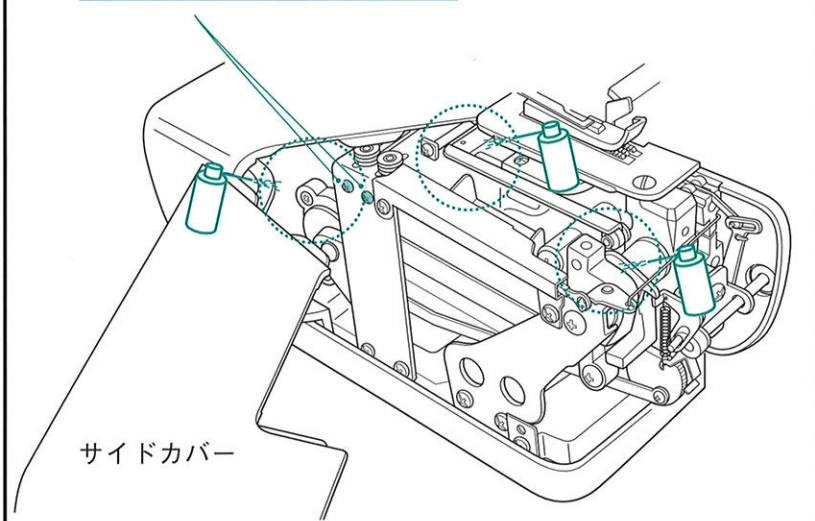
ケガをする恐れがあります。

メスの交換をする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

掃除と注油について

このミシンは特殊な材質を使用しているため油を注す必要はありませんが、切りながら縫うことが多いため切りクズがたまりやすくなります。掃除機を使って埃を吸い取るか、付属の掃除用ブラシを使って払ってください。また音が高くなったりした場合は、下記の箇所に油を差してみてください。

部品をはずしたり、ネジを緩めたりしないでください。特にこのネジは絶対にいじらないでください。



注 エアスルーシステムの部分には絶対に油を噴き付けしないでください。



ミシンが動かない等の異常がありましたら、修理を依頼される前に下記のことをご確認ください。

状 況	確認内容	参照ページ
ミシンが動かない！	<input type="checkbox"/> 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。…………… 5 <input type="checkbox"/> 照明ライトスイッチが [I] になっていますか。…………… 5 <input type="checkbox"/> はずみ車の「固定の解除」がされていますか。…………… 18・28	
まったく縫えない！	<input type="checkbox"/> 押え金下がっていますか。…………… 18・28	
普通ロックが うまく縫えない！	<input type="checkbox"/> オーバー／ウェーブ切換ツマミが [O] になっていますか。…………… 14・15 <input type="checkbox"/> 4本糸ロックでは縫い目切換ダイヤルが [A] になっていますか。…………… 15 <input type="checkbox"/> 3本糸ロックでは縫い目切換ダイヤルが [B] になっていますか。…………… 15 <input type="checkbox"/> 送り目ダイヤルが [普通ロック] 側の数字になっていますか。…………… 15 <input type="checkbox"/> 糸調子皿から糸がはずれていませんか。…………… 15 <input type="checkbox"/> あこ〜でおんレバーの位置は適切ですか。…………… 11	
巻きロックが うまく縫えない！	<input type="checkbox"/> オーバー／ウェーブ切換ツマミが [O] になっていますか。…………… 14・16 <input type="checkbox"/> 縫い目切換ダイヤルが [C] または [D] になっていますか。…………… 16 <input type="checkbox"/> 送り目ダイヤルが [巻きロック] 側の数字になっていますか。…………… 16 <input type="checkbox"/> かがり幅ダイヤルが [M] になっていますか。…………… 16 <input type="checkbox"/> あこ〜でおんレバーの位置は適切ですか。…………… 11	
ウェーブロックが うまく縫えない！	<input type="checkbox"/> 1本針3本糸になっていますか？…………… 25・26 <input type="checkbox"/> オーバー／ウェーブ切換ツマミが W になっていますか。…………… 25・26 <input type="checkbox"/> 縫い目切換ダイヤルが [WB] ウェーブまたは [WC] ウェーブの巻きロックになっていますか。…………… 25・26 <input type="checkbox"/> 送り目ダイヤルが [WB] のときは普通ロック側の数字 [WC] のときは巻きロック側になっていますか。…………… 25・26 <input type="checkbox"/> 糸調子皿から糸がはずれていませんか。…………… 25	
目とび、糸切れがする！	<input type="checkbox"/> 針は指定の [オルガンHAX1SP] がついていますか。…………… 34 <input type="checkbox"/> 針は針留の穴の一番奥まで入っていますか。…………… 34 <input type="checkbox"/> 曲がったり、針先が磨耗している針がついていませんか。…………… 34 <input type="checkbox"/> 糸かけが間違っていないですか。…………… 17~23・27~32 <input type="checkbox"/> 糸がどこかに引っ掛かっていませんか。…………… 17~23・27~32 <input type="checkbox"/> 古い糸を使用していませんか。…………… 6	
メスが布地を切らない！	<input type="checkbox"/> メスロックダイヤルが [LOCK (固定)] になっていませんか。…………… 10 <input type="checkbox"/> 上メスが磨耗していませんか。…………… 35	
エアレバーを押しても 糸が通らない！	<input type="checkbox"/> 「はずみ車の固定」がされていますか。…………… 18・28 <input type="checkbox"/> ルーパー糸通し上下切換スイッチの位置は正しいですか。…………… 19~20・29~30 <input type="checkbox"/> 糸通し穴に糸が1~2cm挿入されていますか。…………… 19~20・29~30 <input type="checkbox"/> 糸通し穴の手前で糸を20cmほどたるませていますか。…………… 19~20・29~30 <input type="checkbox"/> 糸がどこかに引っ掛かっていませんか。…………… 17~23・27~32 <input type="checkbox"/> パイプの中にゴミがたまっていますか。…………… 34	
ラクスルー(自動針糸通し)で 糸が針穴に通らない！	<input type="checkbox"/> 「はずみ車の固定」がされていますか。…………… 18・28	

アフターサービスについては、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

■仕 様

-
- 縫い型式 : 2本針4本糸／1本針3本糸オーバーロック
1本針3本糸ウェーブロック
 - かがり幅 : 2本針4本糸ロック 5.5～7.5mm
1本針3本糸ロック 3.0～7.5mm
巻きロック 1.5mm(標準)
 - 縫い目(送り目) : 1～4mm
 - あこ〜でおん比率 : 0.6～2.0
(差動比=伸ばし・縮みの比率)
 - メス上下量 : 6.5mm
 - 押え上がり量 : 5mm
 - 送り歯高さ : 0.7mm(標準)
 - 縫い速度 : 毎分1,500針(常用)
 - 使用針 : オルガンHA×1SP(#11, #14)
 - 使用糸本数 : 4本または3本
 - 照明ライト : 100V15W
 - ミシンの大きさ : タテ280mm ヨコ340mm タカサ290mm
 - ミシンの重さ : 8.0kg(モーター付完成品)
-

仕様の一部を予告なく変更することがありますので、ご了承ください。





baby lock

株式会社 **ジューキ**

本社 / 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 TEL 03(3265)2851(代表)

札幌 011 (737) 6821 仙台 022 (239) 3705 新潟 0250 (43) 4451
 東京 **03(5825)9020** 名古屋 052 (917) 3671 大阪 06 (6768) 3651
 倉敷 086 (473) 0355 広島 082 (227) 5781 福岡 0942 (44) 7921

修理等のご依頼はお買い上げの販売店を通じてご連絡ください。

お客様へ _____
 お買い上げ日、販売店名を記入されておきますと、修理などのときに便利です。

お買い上げ日	年 月 日
販売店名	
	TEL